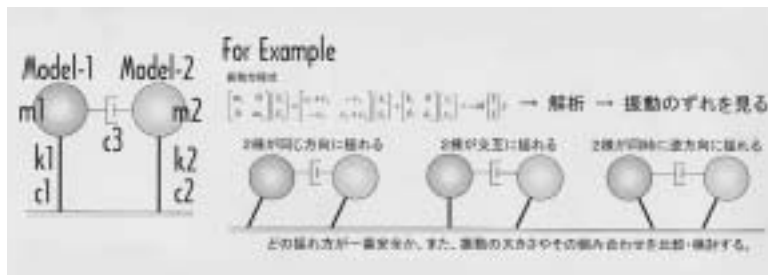


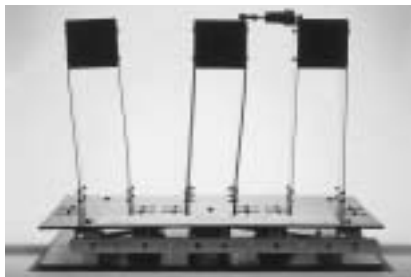


SYUNKEN

駿建



1998.4 Vol.26 No.1 新学季号
日本大学理工学部 建築学科
短期大学部 建設学科建築コース



Square-Box
既存建物改修の可能性
大杉 彩夏
(平成9年度桜建賞
・卒業制作部門)



みち と 道
お茶の水駅改築計画
佐藤 崇文
(平成9年度桜建賞
・卒業制作部門)



参加型図書館 小学校の保存と再生
山田 徹
(平成9年度奨励賞・卒業制作部門)



平成10年度 履修要項

建築学科

平成10年4月

1. 履修に関する一般事項

履修要覧 建築学科を卒業するために必要な条件は、入学時に渡された「学部要覧」および「建築学科履修の手引き」に詳しく記載されている。これは大学と諸君との間の、教育に関する“契約”が述べられている重要文書だから、卒業まで大事に取り扱い、年度初めには必ず読み直すべきものである。これら履修に関する諸規定は、諸君が卒業するまで変更することなく適用される。なお、本年度の3年次編入生には、平成8年度の履修規定が適用される。

これらの履修規定はカリキュラムの変更にともなって改訂されることがある。平成5年度および平成10年度の改正によって、1年次生、2～6年次生、7年次生以

上では、それぞれ履修規定・設置科目が異なっているので注意すること。特に平成10年度の新1年生に適用される新しいカリキュラムでは大幅な改訂が行われている。2年次以上の学生が1年次設置科目を受講する場合は、ガイダンス時に配布される新旧科目振替表によってよく確認の上、受講計画をたてる必要がある。

相互履修および単位互換制度 平成7年度から、日本大学相互履修制度が運用されている。これは、所定の手続きを経て各学部の指定する講義を相互に履修できるようにしたもので、合格すれば単位が修得できる。受講可能学科目、申請手続き等はガイダンス時にクラス担任から説明がある。建築学科では、このようにして修得した単位を「卒業に必要な単位」には算入しないが、高学年で時間に余裕があれば、芸術、生産工、経済学部等の講義をきいて知識を広めるとよい。単位互換制度は、理工学部と短期大学部間で、それぞれ指定された講義を相互に履修できるようにしたもので、平成8年度から実施されている。上の相互履修制度を短大にまで広げたものと考えればよい。詳細情報は教務課またはクラス担任まで。

他学科設置科目の受講 2年次生は40単位以上、3年次生は85単位以上、4年次生は125単位以上を修得し、受講計画に余裕があって、クラス担任から必要と認められた場合、受講科目担当師の許可を得て、建築学科以外の学科に設置された基礎教育および専門教育科目を受講することができる。詳しくは履修要覧参照。

受講届 毎年新学期の受講計画は、指定された期限までに受講届を提出し、教務課に登録されたことを確認しなければならない。登録していない科目の試験を受けて合格しても単位は認められない。届出・確認の手続きは必ず自分の責任において行い、控えをとっておくこと。

教職課程の受講 中学校および高等学校の教員免許を取得希望の者は、教職課程科目を受講することができる。履修条件その他の詳細は、学部要覧の履修要項 教職課程 を参照されたい。

平成10年度クラス担任一覧

学年	クラス担任	研究室No.・電話番号（内線）
1年	A 朝倉 徳雄	船・体育館研究室G 0474-69-5(298)
	" 河内山康子	"・531 0474-69-5(235)
	B 小川 貴	"・体育館研究室D 0474-69-5(327)
	" 稲井田次郎	"・543-C 0474-69-5(234)
	C 小山 裕三	"・体育館研究室J 0474-69-5(516)
	" 宝達 邦彦	"・122-B 0474-69-5(208)
	岡村 武士	"・大型構造物試験棟 0474-69-5(366)
	橋本 修	駿・946 03-3259-Q(928) 駿・583-A 03-3259-Q(699)
2年	1組 三橋 博巳	駿・581-B 03-3259-Q(705)
	" 佐藤 慎也	"・578-A 03-3259-Q(701)
	2組 新谷 隆弘	"・454 03-3259-Q(720)
	" 斉藤 俊一	"・589 03-3259-Q(704)
3年	1組 柳田 武	駿・579 03-3259-Q(716)
	" 八藤後 猛	"・965 03-3259-Q(712)
	2組 根上 彰生	"・577-B 03-3259-Q(700)
	" 宇於崎勝也	"・" "
4年 5年次以上	1組 白井 伸明	駿・431-B 03-3259-Q(708)
	" 森泉 和人	"・" "
	2組 石田 道孝	"・965 03-3259-Q(715)
	" 宇杉 和夫	"・589 03-3259-Q(462)
	" 佐藤 直樹	"・579 03-3259-Q(711)

大学院理工学研究科建築学専攻（修士）

1年	片桐 正夫	駿・587-A 03-3259-Q(709)
2年	半貫 敏夫	駿・432-A 03-3259-Q(713)

大学院理工学研究科不動産科学専攻（修士）

1年	横内 憲久	船・237-B 0474-69-5(427)
2年	浅香 勝輔	駿・9121-C 03-3259-Q(604)

■ 1年次生

○履修要項と学科の概要について

1年次生は、ガイダンスの時に配布される平成10年度理工学部要覧に示された履修要項に従って卒業まで学修する。この学部要覧には、履修規定、履修方法のほか

に、各年次別の授業科目、単位、履修順序、受講手続きの方法、受講計画上の注意、教職課程の履修方法および学生生活に関する情報が掲載されているので、卒業まで大事に保管し、よく検討して学修計画を立てること。また各授業科目の内容は、学部要覧の学科目概要および学期初めに科目担当教員から配布される授業計画（シラバス）で知ることができる。

建築学科の概要や教育目標、学修方法、コース（建築学コースと企画経営コース）選択、その他については、ガイダンス当日に教室主任およびクラス担任の先生から説明がある。両コースの履修の詳細については別途配布する「**建築学科履修の手引**」を参照されたい。コースの選択・登録は2年次後期に行われる。

○総合教育・外国語・基礎教育・専門教育科目の履修について

時間割表を見るとわかるように、大学生にふさわしい人格形成のため、そしてこれから専門教育を受ける上で必要と思われる総合教育科目が1年次に多数設置されている。なかでも基礎教育科目の微分積分学、基礎物理学および工業数学は専門教育の基礎となる重要な科目であるから、できるだけ1年次で単位を修得すること。

外国語科目は、英語を中心にして、第2外国語にドイツ語、フランス語、その他を選択するとよい。

また、1年次の専門基礎教育科目（専門教育を受ける上で基礎となる知識や学力を蓄えることを目標とした科目）として、建築概論、デザイン基礎、の必修3科目およびコンピュタリテラシ、情報処理の選択2科目、専門教育科目として建築基礎実験、建築の計画と技術、建築史概論、構造力学、構造力学演習が設置されている。これらはすべて建築学の基礎であるから1年次で全て受講するとよい。

1年次では**40単位を目標**に頑張してほしい。ただしあまり欲張って、無計画に毎日5時限までピッチリ授業を組む必要はない。卒業までの4年間でどう過ごすかを十分に考えた上で、長期的な視野で受講計画を立てることをすすめる。

■ 2 年次生

諸君のメインキャンパスは船橋校舎だが、建築設計製図、と材料実験の時には（週1回）、駿河台校舎に通学してもらうことになる。大学の将来をかけた駿河台地区再開発プロジェクトのため、すこし変則的なキャンパスの使い方になっており、諸君には不便なことが多いと思うが、大学の発展のために協力してほしい。

○専門教育科目の履修について

履修規定は昨年の入学時に配布した**平成9年度(1997)学部要覧**による。2年次から本格的な専門教育課程に入る。教育効果を高めるために2クラスに分けて各専門科目を受講するように時間割が編成されている。クラスは学生番号が奇数の学生が1組、偶数の学生が2組である。諸君はそれぞれ該当するクラスの時間割に従って、受講計画を立ててもらいたい。なお、クラスを変更した受講はできない。

2年次設置の専門教育科目はすべて、これから建築を学んでゆく上の基礎的な科目であるから、時間割に組まれたこれらの科目は、単位数からみても全部履修することが望ましい。とくに、*印のついた11科目（企画経営コースは13科目）は「選択必修科目」である。「必修」と同様に考えて、よく勉強することが必要である。

カリキュラムの系統図や分類については、1年次のガイダンスで配布した「**建築学科履修の手引**」を再読して、各学科目の位置づけと相互の関連をよく検討した上で、選択科目を決めるとよい（図1）。なお、3年次終了までに卒業に必要な単位の3/4にあたる102単位以上を修得していないと、4年間で卒業できない。受講計画全般については、クラス担任が相談にのってくれる。

○基礎教育科目の受講について

2年次に設置されている基礎教育科目は、微分方程式、数理統計学、材料化学A、応用地質学の4科目10単位である。卒業条件としては、1年次設置の建築概論、図学および実習、基礎製図法等を含めて合計14単位以上を修得すればよい。受講計画は、3、4年次の構造系専門科目の基礎として「微分方程式」を、環境工学、都市計画、建築計画などの計画系専門科目の基礎として「数理統計学」の受講をすすめる。

○建築学、企画経営コースの選択と登録について

諸君は2年次後期に「建築学コース」か「企画経営コース」を選択・登録し、以後はそれぞれのコースのカリキュラムに従って、各学科目の選択・受講の計画を立てることになる（図2）。コース選択の方法は、後日クラス担任および企画経営コース担当の教員から説明がある。なお、前期に設置されている「不動産科学概論」は企画経営コースの入門的な内容で、両コースの学生がそれぞれ専門教育科目の一つとして受講できるようになっている。なお、企画経営コースのB系列専門科目は、コース選択が決定した後期に受講登録できる。

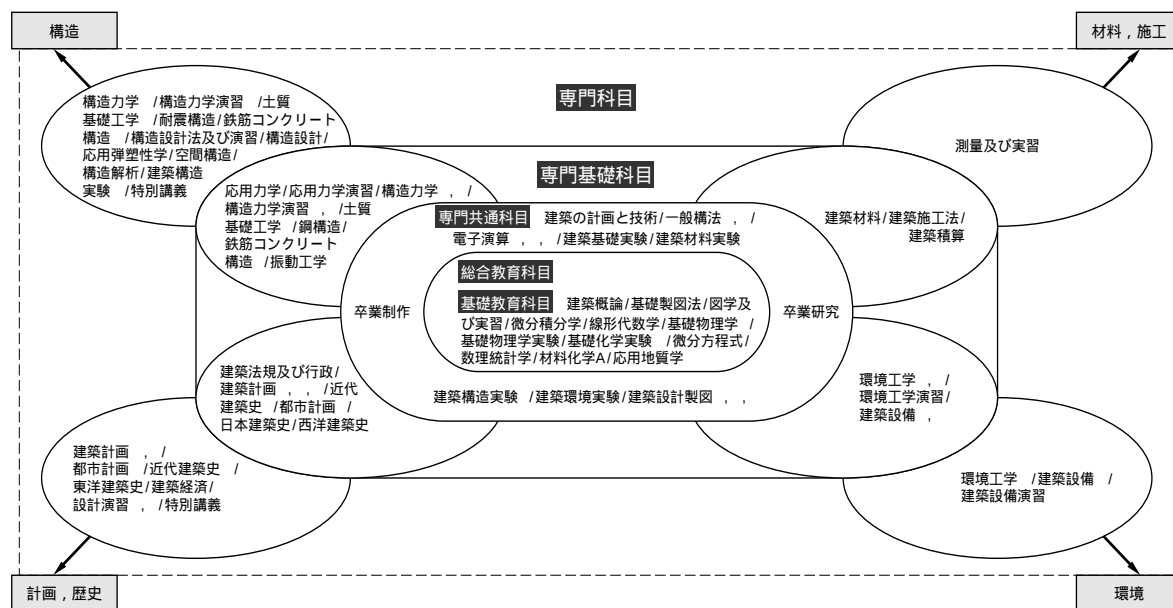


図1 建築学科(建築学コース)設置科目と専門分野(2年次生以上に適用)

○建築設計製図、および材料実験の受講について

さきに述べたように、諸君は建築設計製図、および材料実験の講義・実習を駿河台校舎で受ける。1組は月曜日、2組は木曜日がこれに当てられる。製図も実験も10数名の小グループに分けて行われるので、それぞれのガイダンスには必ず出席すること。駿河台校舎の実験室は手狭なので、各班ごとに時間をずらして各種実験が行われることが多い。実験の予定・準備する資料その他、各種の注意事項が、駿河台5号館5階エレベータホールに掲示されるので、毎週月、木曜日に駿河台校舎に来たら、必ず掲示を確認するとよい。

○3年次から授業校舎が駿河台校舎に変わることに関連した注意

2年次設置専門科目の単位を落とした場合は、3年次にまた船橋校舎に通わねばなくなる。両校舎間の往復に時間がかかるので、2年次の単位を残すと、受講計画に非常に不利となることに注意してほしい。

■3年次生

○専門教育科目の受講について

2年次と同様に3年次(とくに前期)には、建築を学んでゆく上で基礎となる専門教育科目が多数設置されている。自分の専攻分野を決めるために各方面にわたる科目を3年次で一通り履修しておくといよい。2年次設置専

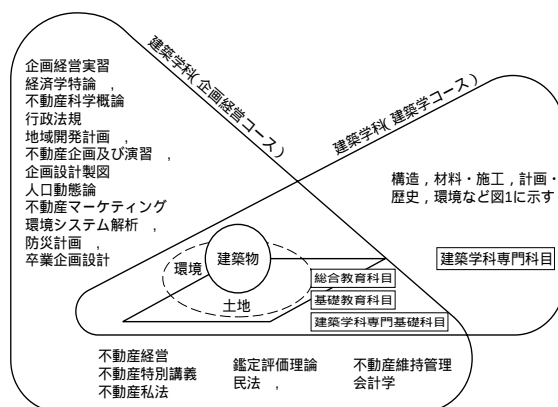


図2 企画経営コースとB系列専門科目(2年次生以上に適用)

門科目を受講する必要がある者は、船橋校舎の授業を受けなければならない。ただし、3年次編入生が2年次設置の*印専門科目を駿河台校舎で受講できるようにしてあるので、時間割表をよく検討して時間の無駄のないように受講計画を立てること。この駿河台設置の2年次科目は編入生用で、その受講にはクラス担任の許可が必要。受講順序は、2年次設置科目から優先的に受講しなければならない。なお、編入生は認定単位の制約から、本年度の受講計画が一番難しい。そこで、編入生に限りクラスを変更して受講することが認められるので、受講計画立案の段階でクラス担任によく相談すること。

建築学科の卒業条件としては、必修、選択必修科目を含めて専門教育科目84単位以上を修得しなければならない。また4年次設置の専門科目は、原則として諸君が

それぞれ自分の専攻分野を決めてから受講する選択科目だから、3年次終了までに専門教育科目の単位は少なくとも70単位以上修得しておくべきである。

とくに企画経営コースでは、3年次に基礎的かつ重要な専門科目が集中設置されているので、これらの単位は取りこぼしのないようにしなければならない。

○卒業研究着手条件について

諸君が来年度に**卒業研究に着手**するためには、卒業条件の単位数136単位の3/4にあたる**102単位以上**を今年度中に修得しなければならない。これは、単に3年次までに修得した単位の合計ではなく、**卒業に必要な単位の合計が102以上なければならない**ので充分注意してほしい。この卒業研究着手条件は厳守され、例外はない。

また、次年度の卒業研究に十分な時間をかけて悔いのない大学生活をおくるためには、3年次終了までに修得する単位総数が、卒業条件として有効な単位だけでなくとも**120以上**あることが望ましい。

○卒業設計(卒業制作)・卒業企画設計(必修,2単位)の受講について

建築学コースの4年次生は、卒業研究のほかに必修科目として「卒業設計」を、企画経営コースの4年次生は「卒業企画設計」をそれぞれ履修する。ただし、この必修科目の受講は卒業研究着手者のみに許可される。一人の学生に二人の指導教官がついて、各学生の自主的なテーマ設定に基づいて一つの作品を仕上げるのがこの科目である。

■ 4 年次生

4年次の新学期で最も大事なことは、諸君のそれまでの修得単位数によって当該年度に卒業する見込みがあるかどうかの判断が下されることである。卒業見込み者＝卒業研究着手者であり、大学生活最後の年度は卒業研究のテーマ設定と指導教官の選択から始まる。

本来ならば卒業研究指導の先生が決まり、しばらく研究室活動を行ってから、大学院進学や就職先など卒業後の進路について卒研指導の先生とじっくり相談するのが理想である。しかし、近頃の現実はどうもうまくゆかなくて、就職活動の準備や情報収集は2月、3年次の期末試験が終わるとすぐに始めざるを得ないようになってしまっている。そこで、積極的に建築教室の就職情報を見たり、企業のホームページ、D.M.を検討するなど、情報収集はできるだけ広い範囲で行い、進路について身近な先生がたや先輩、両親等に早めに相談するとよい。

もう一つ、デザイナー、構造デザイナー、企業の研究

表1 4年次設置の専門教育科目の分類

環境・計画系	構造・材料・施工系
設計演習 (2)	建築構造実験 (1)
建築経済 (2)	構造設計 (2)
建築計画 (2)	測量及び実習 (2)
建築計画 (2)	特別講義(シェル構造) (2)
都市計画 (2)	空間構造 (2)
環境工学 (2)	応用弾塑性学 (2)
建築設備III (2)	構造解析 (2)
建築設備演習 (1)	防災計画 (2)
東洋建築史 (2)	
特別講義(デザイン論) (2)	
防災計画 (2)	
計 21単位	計 15単位

(注) 特別講義はどちらか一方のテーマを選択・受講する。測量及び実習、空間構造は計画系の学生にも必要な科目である。

表2 建築実験の実験項目と担当者一覧

実験科目名と担当責任者	実験項目と担当者
建築基礎実験 (必修・1単位) (岡村)	化学実験(一般・化学教室) 物理実験(一般・物理教室) 専門実験 振動実験(石丸, 白井, 新谷, 森泉) 構造強度(斎藤(公), 岡村, 黒木) 風洞・測定法(三橋, 下村, 広部/本岡, 中山)
建築材料実験 (必修・1単位) (三橋)	セメント・コンクリート実験(清水, 横山, 中山, 依田, 平賀) 鋼材実験(平山, 半貴, 三橋, 小久保, 斎藤(俊))
建築環境実験 (必修・1単位) (木村, 井上)	騒音実験(木村, 井上, 荘, 橋本) 設備実験(吉田, 八町, 蜂巢) 光実験(関口, 橋本)
建築構造実験 (必修・1単位) (斎藤(公), 岡田)	光弾性実験(本岡, 戸塚, 中山) 構造安定実験(斎藤(公), 岡村, 岡田)
建築構造実験 (選択・1単位) (安達)	構造実験(白井, 清水(泰), 森泉) 土質実験(安達, 山田)

(注) 各実験項目についての問い合わせは、各担当者の所属する研究室へ、実験項目の可否その他、総合的な質疑は各担当責任者に問い合わせる。

職など、将来、専門性の強い分野での活動を目指す諸君には、特に大学院(修士)への進学を勧める。最近の就職事情をみると、これらの分野への就職は大学院修了者が非常に有利である。大学院進学は卒研指導の先生とできるだけ早く相談すること。ただし大学院進学希望者が一つの研究室に集中すると、一人の先生が指導できる大学院生の数は限られているから、その時点で進路の窓口が閉ざされてしまうことがある。建築教室内のこのような事情はクラス担任が一番正確に把握しているから、流言に惑わされず、クラス担任からの確かな情報を得るのがよい。卒業研究の研究室選択には、自分の専門を決める以外にもいろいろなファクターが関係するのである。

○専門教育科目の受講について

建築学コース4年次に設置されている専門科目は、2、

3年次の専門科目70～75単位を修得した上で、諸君の将来の進路なども考慮して、表1に示す計画系、構造系の分類の中から選択して受講するとよい。受講科目が計画・構造の両系にまたがってもよいが、自分の得意な分野を決めてそれを深めながら、時間の余裕があれば、広く知識を求めるのが理想である。

○建築学コースの専門教育科目に関する卒業条件

必修科目16単位、選択必修科目15科目以上を含むA系列選択科目52単位以上の単位を含めて84単位以上。

たとえば3年次終了までに、卒業条件に合う専門科目の修得単位総数が70単位だったとすれば、4年次の必修科目として卒業研究4単位、卒業設計2単位、計6単位があるから、4年次で8単位以上を修得すればよいことになる。卒業条件136単位を満たすためには、この他の科目区分からでも自由に選べる単位が9単位ある。これを仮に専門教育科目でカバーしようとするれば、 $8 + 9 = 17$ 単位であり、4年次前期で十分に修得できる単位数である。

○企画経営コースの専門教育科目に関する卒業条件

必修科目16単位、選択必修科目の中からA系列15科目以上、B系列11科目以上の単位を含めて84単位以上。

企画経営コース4年次設置の専門科目は、コース独自のB系列科目がほとんどである。各自の卒業研究テーマとも関連づけて、クラス担任と相談のうえ選択するのがよい。

■ 建築実験について

1～4年次まで設置されている建築実験は、それぞれ10数名の班単位で行われる。各実験項目についての班分けや実施日程などは、別にプリントとして新学期の総合ガイダンス時にクラス担任から配布される。実験科目と実験項目、担当者一覧を表2に示す。

■ 建築設計製図の受講について

建築設計製図は1～3年次までが必修で、3年次後期の設計演習と4年次前期の設計演習は選択である。設計演習は、将来、主として設計（デザイン）方面に進む学生を対象とした課題のほかに、インテリアやCADに興味をもつ人を対象とした課題によって構成されている。受講計画を立てる時には、自分の進路をよく考えてから選択してもらいたい。

ただし、建築学科を卒業後、実務経験2か年を経て受験することのできる1級建築士資格試験の設計製図の課題内容は、大学で設計製図までを修得していれば充分

表3 平成10年度 建築設計製図担当者一覧

学年	科目	1組	2組
1 (船)	デザイン基礎 (必修)	(水) *柳田 武 上利 益弘 小石川正男 前田 光一 佐藤 直樹	(金) *石田 道孝 佐藤 光彦 宇杉 和夫 横山 聡 八藤後 猛
	デザイン基礎 (必修)	(水) *柳田 武 田島 夏樹 本杉 省三 田中 雅美 佐藤 直樹 山崎 敬三	(金) *石田 道孝 小松 清路 宇杉 和夫 白江 龍三 八藤後 猛 杉 千春
2 (駿)	建築設計製図 (必修)	(月) *野村 歆 小川 守之 若色 峰郎 小松 清路 杉 千春 夏樹 佐藤 慎也 田中 雅美	(木) *宇杉 和夫 川口とし子 石田 道孝 白井 勇 本杉 省三 白江 龍三 山崎 敬三 重枝 豊
	建築設計製図 (必修)	(月) *若色 峰郎 小川 守之 片桐 正夫 佐藤 光彦 野村 歆 白井 勇 佐藤 慎也 横山 聡	(木) *本杉 省三 川口とし子 宇杉 和夫 野沢 正光 高宮 真介 前田 光一 重枝 豊 吉井 信幸
3 (駿)	建築設計製図 (必修)	(水) *若色 峰郎 飯田 善彦 関沢 勝一 高橋 晶子 西沢 立衛 野沢 正光 佐藤 慎也 吉田 博	(金) *高宮 真介 アストリッドクライン 本杉 省三 奥田 孝次 椎名 英三 曾我部昌史 横河 健
	設計演習 (選択)	(水) *関沢 勝一 曾我部昌史 若色 峰郎 西沢 立衛 松岡 辰郎 渡辺 富雄 吉田 博	(金) *高宮 真介 アストリッドクライン 柳田 武 椎名 英三 高橋 寛 大川 三雄 横河 健
4 (駿)	設計演習 (選択)	(火) *関沢 勝一 *片桐 正夫 高宮 真介 坂 茂 渡辺 富雄	*根上 彰生 *柳田 武 吉井 信幸 松岡 辰郎 宇崎崎勝也

* 事務担当 内 事務担当助手

対応できる。

- 建築設計製図の各科目は、必修、選択ともに同時受講はできない。またデザイン基礎、を修得しないで設計製図、を、設計製図、を修得しないで設計製図と設計演習を、そして設計製図と設計演習を修得しないで設計演習を受講することはできない。すなわち設計製図は、設置順に段階的に単位を修得しなければならないのである。
- その他、設計製図の受講に関する手続きの詳細は、学期初めに行う設計製図ガイダンスの際、配布するパンフレット「建築設計製図の課題及び案内」に記載してある。
- 設計製図関係科目に関する一般的な連絡は、5号館5階エレベータホールに掲示する。
- 本年度の製図関係科目の事務担当を表3に示す。

● 卒業研究について(各コース共通)

建築学科における卒業研究着手条件は、次のとおり。

卒業に必要な科目区分別修得単位総数が102単位以上であること。この「卒業に必要な科目区分別修得単位総数」に含まれる専門教育科目以外の単位は、それぞれ科目区分ごとに、総合教育科目16単位、外国語科目10単位（英語6単位以上）、保健体育科目3単位、基礎教育科目14単位までとする。上の各科目区分内でそれ以上修得した単位は、「卒業に必要な修得単位総数」には算入し

ない。この条件を満たした学生に対しては、理工学部より卒業見込証明書が発行される。

卒業研究着手条件を満足する学生は、平成10年1月に配布された「駿建」のテーマを参考にして、自分の希望する研究室に卒業研究の申し込みをすることができる。

申し込みの方法などについては、クラス担任から4年次総合ガイダンスの際に詳しい説明がある。

卒業研究について

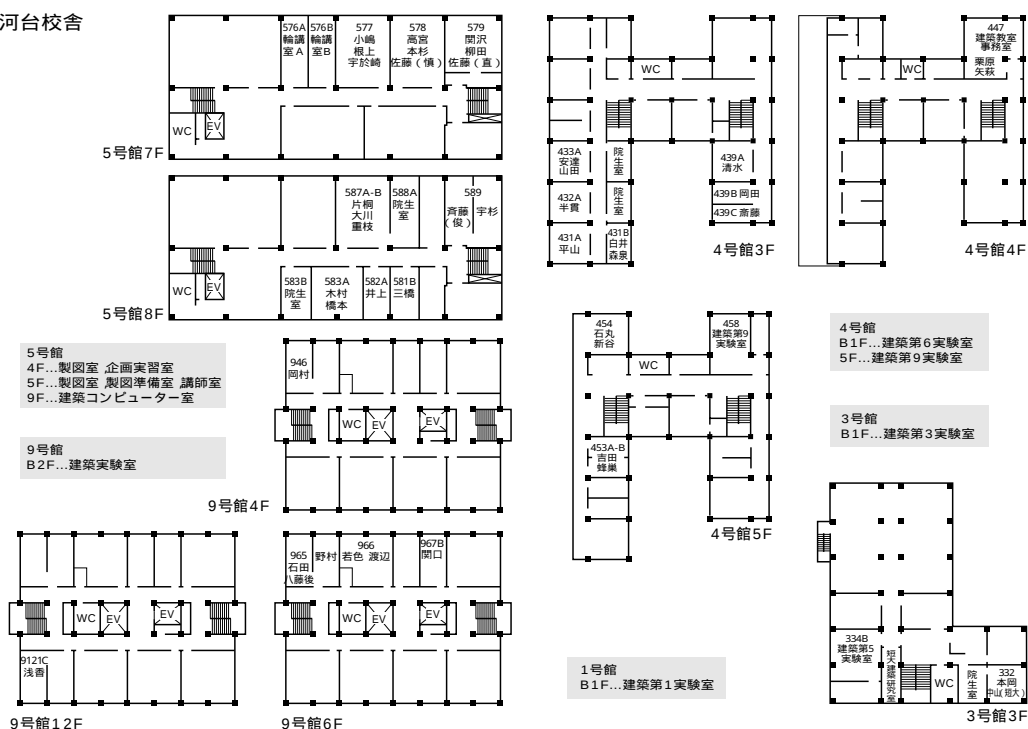
大学生活のしめくくりとして、卒業研究を通じて一人の先生と1年間ひとつのテーマで勉強することは、大学の専門教育のなかで最も意義あるもののひとつである。大学に入って1年、2年、3年、と多くの先生方の講義を聴くことによって、それぞれの先生のものの考え方を学ぶことは、もちろん、視野を広める上に有益なことであるが、大学生生活最後の仕上げの時期に膝を交えて先生と話し合うことのできる卒業研究は、勉強すること以外に人生

に関する諸問題も話し合える機会として、学生諸君にとって大切な場であると思う。したがって、建築教室としては、諸君の教育の仕上げの場として、卒業研究を最も大切な科目と考えていることを、まず念頭に置いてもらいたい。

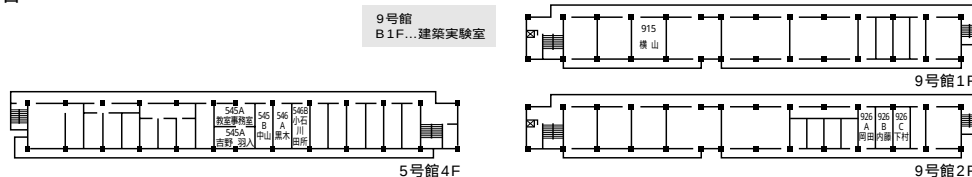
卒業研究着手の心がまえや手続きについてはクラス担任から詳しい説明があるが、卒業研究についた先生には、勉強のことはもちろん、就職の問題、さらにまた将来は結婚の問題といろいろとお世話になるものであり、学生諸君はこの卒業研究を完成させる過程を経て、ほんとうに大学生活を有意義に終わることができるものと考えている。

建築教室関連マップ

駿河台校舎



船橋校舎



短期大学部建設学科建築コース

平成10年4月

■はじめに

建築コースにおける卒業最低条件は、表1に示す単位以上を修得しなければならない。

すなわち、表1に示すように一般教育科目・外国語科目・保健体育科目から16単位以上、専門教育科目から40単位以上、一般教育科目・外国語科目・保健体育科目・専門教育科目の中から任意に6単位以上修得しなければならない。これは短期大学部の教育理念が、完成教育を目指したもので、諸君の勉学が一方に偏らず、広く建築全般にわたって学修できるようにしたものである。学園生活全般にわたり不明な点がある場合は、クラス担任の諸先生（表2）に相談すること。

次に、以上の事柄について詳しく説明しよう。

表1 卒業に必要な最低単位

一般教育科目	10
外国語科目	4
保健体育科目	2
小計	16
専門教育科目	必修科目（8科目）
選択必修科目	28
小計	40
一般教育・外国語・保健体育・専門教育科目の中から	6
合計	62

表2 クラス担任

学年	氏 名	研究室	電話番号（内線）	E-mail(nihon-u.ac.jp)
1年	佐藤 勝	539	0474-69-5(436)	sato@gaea.jcn.
	小石川正男	546・B	0474-69-5(443)	arkikoi@arch.jcn.
	黒木二三夫	546・A	0474-69-5(444)	kuroki@arch.jcn.
2年	岡田 満	926・A	0474-69-5(487)	okada@arch.jcn.
	中山 優	545・B	0474-69-5(566)	nakayama@arch.jcn.
	内藤 正昭	926・B	0474-69-5(433)	naitoh@arch.jcn.

■一般教育科目・外国語科目・保健体育科目

専門科目以外は、表3に示すように一般教育科目・外国語科目・保健体育科目の3グループに分けられている。各グループの卒業に必要な条件は、一般教育科目から10単位以上、外国語科目から4単位以上、保健体育科目からスポーツ（必修）を含めて2単位以上、計

表3 一般教育科目・外国語科目・保健体育科目

	科 目	単位	履修方法
一般教育科目	哲学	2	このうちから10単位以上を修得しなければならない。 日本の文化、日本の社会は、留学生のみ履修できる。
	哲学	2	
	倫理学	2	
	倫理学	2	
	国語国文	2	
	国語国文	2	
	日本の文化	4	
	法学	2	
	法学	2	
	経済学	2	
	経済学	2	
	社会学	2	
	社会学	2	
	日本の社会	4	
	微分積分学	2	
	微分積分学	2	
	線形代数学	2	
	線形代数学	2	
	物理学	2	
	物理学	2	
物理実験	1		
物理実験	1		
化学	2		
化学	2		
化学実験	1		
化学実験	1		
教養ゼミナール	2		
総合講座	2		
外国語科目	英語講読	1	このうちから4単位以上を修得しなければならない。
	英語講読	1	
	英語表現法	1	
	英語表現法	1	
	英語講読	1	
	英語講読	1	
	ドイツ語	1	
	ドイツ語	1	
	ドイツ語	1	
	ドイツ語	1	
	フランス語	1	
	フランス語	1	
	フランス語	1	
	フランス語	1	
保健体育	スポーツ（必修）	1	必修科目を含めて2単位以上を修得しなければならない。
	スポーツ	1	
	スポーツ	1	
	体育・スポーツ科学	2	

16単位以上を修得しなければならない。なお、理工学部建築学科への編入学希望者は、物理実験・を履修すること。

■専門科目

専門科目は、表4に示すように必修科目（8科目・12単位）と、選択必修科目（42科目・74単位）に大別

される。ここで卒業に必要な条件は、必修科目12単位と選択必修科目〔A〕、〔B〕、〔C〕の各系列から、それぞれに決められた履修条件を満たし、合わせて28単位以上、計40単位以上を修得しなければならない。なお、設置科目の半数以下を修得すれば卒業条件を満たすが、建築を学ぶ者としては幅広い範囲にわたって各科目を履修できるようにしたものである。また、これらの科目はそれぞれ関連性があり、できるだけ多くの科目を修得することが望ましい。

表4 専門教育科目

1 年 次		単位	2 年 次	単位	履修方法	
必修	建築実験	1	建築実験	1		
	建築実験	1	建築実験	1		
	デザイン基礎	2	建築設計	2		
	建築設計	2	建築設計	2		
選択必修	A	コンピュータリテラシ	1	建築情報処理	2	このうちから8 単位以上を修得 しなければならない。
		情報処理	2	微分方程式	2	
		建築材料	2	微分方程式	2	
		建築材料	2	建築施工法	2	
		一般構法	2	測量実習	2	
			測量実習	2		
			特別講義	1		
			特別講義	1		
	B	応用力学	2	構造力学	2	このうちから10 単位以上を修得 しなければならない。
		応用力学	2	構造力学演習	1	
		応用力学演習	1	構造解析	2	
		応用力学演習	1	構造解析演習	1	
		構造力学	2	鉄筋コンクリート構造	2	
		構造力学	2	鋼構造	2	
		構造力学演習	2	構造設計法	2	
		構造力学演習	1	構造設計演習	1	
	C	建築計画	2	環境工学	2	このうちから8 単位以上を修得 しなければならない。
		建築計画	2	環境工学	2	
		建築計画	2	建築法規	2	
			都市計画概論	2		
		建築史	2			
		建築史	2			
		建築設備概論	2			
		空間デザイン論	2			
		デザイン論	2			
合 計		33	合 計	53		

■ 必修科目について

必修科目（表4上部：8科目）は、すべての単位を修得しなければならない。なお、原則としてデザイン基礎、建築設計 および建築実験 ・ は1年次において、建築設計 ・ および建築実験 ・ は2年次において受講する。

1. デザイン基礎・建築設計 ～

建築設計は建築の総合的表現の修得を目的とするものであるから、長時間の実技的な習練が必要である。そのためには、各課題を所定の時間内に確実に完了し、力量

を積み重ねていかなければならない。

受講票は、建築設計専用の受講票を使用するが、これはガイダンスの際に配布するので、所要事項を記入し、写真を貼付して提出すること。

各課題については、中間指導日時、作品提出日時と指定の班別の担当師が課題別に発表される。中間指導は出題された課題について平面、断面などスケッチを提出して担当師の指導を受ける。

なお、病気、事故などで作品を提出できない場合は、提出日の前後1週間以内に理由書および診断書などを事務担当に提出し、その指示を受けること。また、デザイン基礎・建築設計 を修得しないで建築設計 ・ を履修することはできない。

2. 建築実験 ～

建築実験の内容を以下に示す。

建築実験	建築実験
(i) 構造強度実験	(i) 鋼材実験
(ii) 光の実験	(ii) 梁のたわみ実験
建築実験	建築実験
(i) セメント・コンクリート実験	(i) 風洞実験
(ii) 振動実験	(ii) 音の実験
(iii) 化学実験	

学年始めに各担当師より詳細な説明が行われる。実験は重複しないように指定の班別を実施されるので、スケジュールに従って受講しなければならない。

合否は出席・レポートの考査により各実験別に採点し、全実験の総合的な評価によって判定される。なお、レポート受理の際には受領書を渡されるので、合否が判定されるまで保管すること。

やむを得ない理由等により所定の班および期日に受講できない場合は、事前もしくは直後に各実験担当師へすみやかに申し出て指示を受けること。

■ 選択必修科目について

設置科目は〔A〕～〔C〕の3系列に分けられ、それぞれ履修方法が決められている。これは履修科目が一方に偏らず、広い分野での履修を望みたいからである。

卒業条件はこれらの系列別の必要単位を修得し、合わせて28単位以上を修得しなければならない。

なお、応用力学・構造力学など、演習の設置されている科目は、講義とともに演習も受講しなければならない。

■ その他自由選択科目について

設置科目（一般教育科目・外国語科目・保健体育科目・専門選択科目）の中から任意に6単位以上を修得しなければならない。

専門科目使用教科書並びに参考書

建築学科

(教科書は太字, その他は主要参考書)

学科目名	書 名	編著者名・訳者名など	発行所名	定 価	取 扱 所
建築概論	つどいの空間	ドーム建築企画編集委員会	日本建築センター他	3,620 (税別)	書店
	建築通論	建築通論編集委員会編	彰国社	3,605	岡村研究室 (大型構造物試験棟)
	建築への誘い	近江 栄, 宇野英隆編	朝倉書店	2,600	書店
建築の計画と技術	建築の構造とデザイン	斎藤公男(監訳)	丸善	2,884	書店
建築実験共通	建築実験法		彰国社	5,077	建築研究室(船545-B)
応用力学	建築材料力学	榎並 昭	彰国社	2,783	安達研究室(433-A)
	材料力学(上・中)	チモシェンコ原著 訳・鷗戸口英善, 他2名	東京図書	(上) 2,500 (中) 2,500	書店
	材料力学(上・下)	訳・倉西正嗣, 他2名	裳華房	(上) 3,500 (下) 3,300	書店 書店
応用力学演習	建築応用力学演習	加藤 渉, 榎並 昭	共立出版	2,205	安達研究室(433-A)
構造力学(甲, 乙)	建築構造力学	齋藤謙次	理工図書	3,605	書店
	建築の構造とデザイン	斎藤公男(監訳)	丸善	2,884	書店
構造力学	建築構造力学	齋藤謙次	理工図書	3,605	書店
	骨組構造の解析	佐藤稔雄, 中村恒善	彰国社	5,356	書店
	耐震構造の設計	日本建築学会関東支部	日本建築学会 関東支部	5,000	日本建築学会, 書店
	建築の構造とデザイン	斎藤公男(監訳)	丸善	2,884	書店
構造力学演習	建築構造力学演習	齋藤謙次	理工図書	2,060	書店
鉄筋コンクリート構造	コンクリート構造	本岡順二郎	彰国社	2,835	本岡研究室(332)
鋼構造	鉄骨の設計	若林 実	共立出版	2,781	書店
	鋼構造の設計	佐藤邦昭	鹿島出版会	3,502	書店
	鋼構造設計演習	鋼材倶楽部	技報堂	4,429	書店
	鋼構造設計規準	日本建築学会編	日本建築学会	5,768	日本建築学会, 書店
構造設計法および演習 構造設計	建築構造設計 (全訂第3版)	佐藤稔雄編	理工図書	5,150	書店
	建築物荷重指針・同解説	日本建築学会	日本建築学会	7,880	日本建築学会, 書店
	鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説	日本建築学会	日本建築学会	5,974	日本建築学会, 書店
	鋼構造設計規準	日本建築学会	日本建築学会	5,768	日本建築学会, 書店
	鋼構造塑性設計指針	日本建築学会	日本建築学会	3,296	日本建築学会, 書店
空間構造	建築の絵本 —建築構造のしくみ 力の流れとかたち	川口 衛他	彰国社	2,400	書店
	建築の構造とデザイン	斎藤公男(監訳)	丸善	2,884	書店
	木による空間構造の アプローチ	今川憲英・岡田 章	建築技術	4,800	書店
	柱のない空間 —スポーツ・イベント・ 展示ホール—	日本建築学会	彰国社	1,900	斎藤研究室(439-C)
	つどいの空間 —ドーム建築のデザイン と技術—	ドーム建築企画編集委員会	日本建築センター他	3,620 (税別)	書店

学科目名	書 名	編著書名・訳者名など	発行所名	定 価	取 扱 所
特別講義 シェル構造	テンソルとシェル理論 ベクトルとシェル構造	西村敏雄 西村敏雄	彰国社 彰国社	7,004 6,850	西村研究室(331) 西村研究室(331)
構造解析	建築技術者のための 有限要素法入門	佐藤稔雄編著	理工図書	2,884	書店
振動工学	構造物の動的解析	石丸辰治	石丸研究室	2,000	石丸研究室(454)
耐震構造	構造物の動的解析 Part	石丸辰治	石丸研究室	1,500	石丸研究室(454)
建築材料(甲・乙)	建築材料用教材	日本建築学会編	丸善	1,854	清水研究室(439-A)
建築施工法，建築積算	施工・見積	加藤賢三他 2	彰国社	4,980	半貴研究室(432-A)
一般構法	木質構造建築読本 構造用教材	杉山英男 日本建築学会	井上書院 日本建築学会	3,800 1,854	書店 書店
一般構法	建築構法 建築の構造システム	内田祥哉 平山善吉他 4	市ヶ谷出版 理工図書	2,800 4,800	書店 書店
土質基礎工学 ，	構造用教材 (改訂新版) 建築基礎構造設計 指針	日本建築学会	日本建築学会	1,937	日本建築学会，書店
		日本建築学会	日本建築学会	6,090	日本建築学会，書店
デザイン基礎	建築図学概論	若色峰郎，柳田 武他	彰国社	2,240	書店
デザイン基礎	建築デザインの製図法 から簡単な設計まで 新訂建築製図	武者英二，永瀬克己	彰国社	2,369	書店
		日本建築学会	彰国社	1,648	書店
建築計画	建築計画 ノート	宮川英二	理工図書	2,884	書店
建築計画	建築計画	宮川英二，関沢勝一他	理工図書	3,260	書店
建築計画	設計方法 —設計方法論 設計方法 —設計方法と設計主体 デザインの鍵 設計方法論 建築・都市計画のた めの空間学事典	日本建築学会 建築計画委 員会 設計方法小委員会	彰国社	1,957	書店
		日本建築学会 建築計画委 員会 設計方法小委員会	彰国社	2,400	書店
		池辺 陽	丸善	2,200	書店
		太田利彦	丸善	2,900	書店
		日本建築学会編	井上書院	3,605	書店
建築計画	日本住宅の空間学 新建築学大系・23 建築計画	宇杉和夫 原 広司，鈴木成文他	理工図書 彰国社	3,200 5,562	宇杉研究室(589) 書店
建築計画	障害者の生活と福祉 高齢者・障害者の住 まいの改造とくふう 建築設計資料 14 心身障害者福祉施設 設計計画パンフレット 「ハンディキャッ プ者配慮の設計資料」	野村 歆他	光生館	2,200	書店
		野村 歆	保健同人社	2,730	書店
		野村 歆	建築資料研究 社	3,500	書店
		日本建築学会	彰国社	2,266	書店

学科目名	書 名	編著社名・訳者名など	発行所名	定 価	取 扱 所
都市計画	都市計画第3版 日本近代都市計画の 百年 「都市計画」の誕生	日笠 端	共立出版	3,811	書店
		石田頼房	自治体研究社	2,500	書店
		渡辺俊一	柏書房	3,600	書店
都市計画	都市の景観 実存・空間・建築 新しい都市デザイン	G.カレン 北原理雄(訳)	鹿島出版会 (SD選書)	1,854	書店
		C.N=シュルツ 加藤邦男(訳)	鹿島出版会 (SD選書)	1,854	書店
		J.バーネット 倉田直道・洋子(共訳)	集文社	3,605	書店
建築法規および行政 短大建築法規	建築法規 基本建築関係法令集 建築法規用教材	関田一郎, 野村 歆	理工図書	3,760	野村研究室(965)
		建設省住宅局建築指導課	霞ヶ関出版	2,500	書店
		日本建築学会(建築法制 委員会)編	日本建築学会	1,900	書店
日本建築史	日本建築史図集 日本建築史序説	日本建築学会編	彰国社	2,240	建築史研究室(587-A,B)
		太田博太郎	彰国社	2,884	書店
西洋建築史・建築史概論	西洋建築様式史図集 西洋建築史図集	太田静六	理工図書	2,300	建築史研究室(587-A,B)
		日本建築学会編	彰国社	2,575	建築史研究室(587-A,B)
近代建築史	近代建築史図集 近代建築史概説	日本建築学会編	彰国社	2,240	南洋堂書店
		村松貞治郎, 山口 広, 山本学治編	彰国社	2,400	書店
東洋建築史	東洋建築史図集	日本建築学会編	彰国社	3,193	建築史研究室(587-A,B)
環境工学	建築音響と騒音防止 計画 建築の音環境設計 (日本建築学会設計 計画パンフレット4)	木村 翔	彰国社	3,420	木村研究室(583-A)
		日本建築学会編	彰国社	2,039	書店
環境工学	建築環境工学用教材 (環境編) 建築気候	日本建築学会	日本建築学会	1,854	書店
		斎藤平蔵	共立出版	2,900	書店
環境工学	実務的騒音対策指針 第二版 建物の遮音設計資料	日本建築学会編	技報堂出版	4,500	木村研究室(583-A)
		日本建築学会編	技報堂出版	4,800	書店
建築設備	建築設備概論 環境工学用教材 (設備編) 空気調和設備の実務 の知識 衛生・給排水設備の 実務の知識 暮らしの技術として の建築設備入門	吉田 燦	彰国社	4,200	吉田研究室(453)
		日本建築学会編	日本建築学会	1,900	吉田研究室(453)
		空気調和・衛生工学会編	オーム社	4,350	書店
		空気調和・衛生工学会編	オーム社	4,330	書店
		吉田あきら他	理工図書	3,950	書店

専門科目使用教科書並びに参考書

短期大学部建築コース

(教科書は太字, その他は主要参考書)

学科目名	書 名	編著者名・訳者名など	発行所名	定 価	取 扱 所
建築実験	建築実験法		彰国社	4,980	内藤研究室(926-B)
デザイン基礎 建築設計	建築デザインの製図法から簡単な設計まで	武者英二, 永瀬克己	彰国社	2,369	小石川研究室(546-B)
	建築図学概論	近江 栄, 他 5 名	彰国社	2,240	小石川研究室(546-B)
	コンパクト建築設計資料集成 住居	日本建築学会編	丸善	6,901	書店
応用力学 ,	建築材料力学	榎並 昭	彰国社	2,783	ガイダンス時に指示
	建築応用力学	小野 薫, 加藤 渉	共立出版	2,310	
応用力学演習 ,	建築応用力学演習	加藤 渉, 榎並 昭	共立出版	2,206	ガイダンス時に指示
	応用力学演習問題解析法	西村敏雄	理工図書	4,935	
構造力学 , ,	建築構造力学	齋藤謙次	理工図書	3,605	内藤研究室(926-B)
構造力学演習 , ,	建築構造力学演習	齋藤謙次	理工図書	2,060	内藤研究室(926-B)
鉄筋コンクリート構造	コンクリート構造	本岡順二郎	彰国社	2,835	中山研究室(545-B)
鋼構造	鉄骨の設計	若林 實	共立出版	2,781	岡田研究室(926-A)
構造設計法 構造設計演習	わかりやすい鉄筋コンクリート構造の設計	藤田 幹, 内藤正昭	理工図書	3,440	内藤研究室(926-B)
	鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説	日本建築学会編	日本建築学会	5,974	書店
土質力学	建築基礎構造設計指針	日本建築学会編	日本建築学会	5,974	書店
建築計画	建築計画 1	岡田正光他著	鹿島出版会	3,500	小石川研究室(546-B)
建築計画	日本住宅の空間学	宇杉和夫著	理工図書	未定	小石川研究室(546-B)
建築計画	建築計画 2	岡田正光他著	鹿島出版会	4,200	小石川研究室(546-B)
環境工学 ,	建築環境工学用教材・環境編	日本建築学会編	日本建築学会	1,854	吉野研究室(545-A)
	建築音響と騒音防止計画	木村 翔	彰国社	3,420	
	建築気候	斎藤平蔵	共立出版	3,090	
建築法規	建築基準法法令集	オーム社編	オーム社	1,000	書店
都市計画概論	都市計画	日笠 端	共立出版	3,500	横内研究室(237-B)
建築史	日本建築史図集	日本建築学会編	彰国社	2,240	915室
建築史	西洋建築史図集	日本建築学会編	彰国社	2,575	書店
	近代建築史図集	日本建築学会編	彰国社	2,240	書店
建築設備概論	建築設備概論	吉田 燦	彰国社	3,914	545-A 室
	環境工学用教材(設備編)	日本建築学会編	日本建築学会	1,854	
空間デザイン	建築構造のしくみ	川口 衛	彰国社	2,400	黒木研究室(546-A)
一般構法	建築の構造システム	平山善吉, 他 4 名	理工図書	4,800	内藤研究室(926-B)
建築材料 ,	建築材料学	笠井芳夫, 他 2 名	理工図書	3,811	横山研究室(915)
	建築材料用教材	日本建築学会編	丸善	1,900	
建築施工法 ,	建築生産施工学	毛見虎雄, 他 2 名	理工図書	未定(改訂中)	横山研究室(915)
情報処理, 情報処理	FORTRAN 77 プログラミング入門からグラフィックスまで	川崎, 他共著	培風館	1,980	書店

夢の実現

吉井信幸



「宇宙飛行士になりたい」、そのためにはジェットパイロットになる必要がある。高校時代、そんなことを真面目に考えていました。しかし、もし宇宙に行けなかったら、一生の夢が消えてしまう。そんな風にも考えていました。それなら、毎日、自分の夢が叶えられるものはないかと考えました。

私は小さい頃から住処^{すみか}を造ることが好きで、地上は当然、木の上、土の中、あらゆる所に、あらゆる材料で造りました。そうだ、住処^{すみか}創りをやろう。そう思い、建築学科に入りました。しかし学生時代、ファッション関係やインテリア事務所でアルバイトをし、大変興味を持ちました。将来、このような仕事もよいかなと思ったりもしました。しかし、ファッションを考えたとき、どのようなインテリアがマッチするのが気になり、インテリアを考えると、その建物の外観が気になります。そして建物を考えると、街並みや環境が気になりました。そこで、卒業制作では個人の空間から街づくりまでの関わり合いをテーマにしました。そして就職に当たり、そのようなことが実践でやりやすいのはゼネコンの設計かな、と漠然と思いながら竹中工務店に入社しました。

夢を持っていると仕事は向こうからやってくるもので、大阪の泉北ニュータウンの街づくりコンペで、卒業制作のときのアイデア（斜面地集合住宅）をさっそく取り入れることができ、見事1位となり、実施されました（写真1）。これがきっかけとなり、丘陵地の開発プロジェクトが多くなりました。しかし、木を切り土を動かすことに大変な罪悪感を持ち、いかに自然を生かしながら街をつくるかが私の大きな設計テーマとなりました。自然地の開発手法についてはまたお話しすることとし、工場跡地の開発などは罪悪感はなく、夢多きプロジェクトとなります。自分の創る街に鳥が住みトンボが生息し、5,000人からの人々が楽しく、豊かに生活している姿を夢見るとき、大きな力が湧いてきます（写真2）。

私の作品に対する取り組みは街づくりだけでなく、単体の建物でも同じです。造成された1ロットに計画した教育センターは、建物により造成前の地形を復元し、屋上を緑化してゆく試みで計画しました。建物の中は、

「心のパティオ」「知のパティオ」と題し、水と石と緑で空間を構成しています（写真3）。また超高層、高容積の建物の中に大木を植え、滝をつくり、川を流すことにより、高密度空間でありながら、木の香りと水の音により、視覚、嗅覚、聴覚に訴える空間を創出しました。水晶をイメージしたトップライトと水と緑で構成した中庭（写真4）も、空間を五感で表現したい私の思い入れです。

昨今、批判の多いゴルフ場の設計に対し、自然環境保全のあらゆる手法を使い、コース設計からクラブハウス、家具食器、キャディーのファッションまで、一貫した思想で設計しました。クラブハウスは近くに飛来する白鳥をイメージし造形化しました。使用の材料はその地域から産出される石で建物も池も全て構築することにより、建物を地域の自然に返そうとしました（写真5）。

このように私は、学生時代より約30年間、建築デザインのみにとらわれず、環境と一体となった建築空間を目指し、設計活動をしてきました。このことは少年期の原風景に基づいた夢の実現であり、難しいことは何もありません。皆できることです。自分の一番大切なことや夢見ていることを具現化しようと一生懸命努力すると、それが評価され、自分の道も見えてくると思います。

（非常勤講師 建築設計製図，設計演習）

■筆者略歴

吉井信幸（よしいのぶゆき）

1947年 東京・杉並区に生まれる（川のそば）
1971年 日本大学理工学部建築学科卒業
1971年 竹中工務店入社
1993年～ 日本大学理工学部非常勤講師
現、竹中工務店設計部長

受賞（担当作品）

大阪都市景観建築賞 大阪府知事賞、大阪府建築コンクール優秀賞、神奈川県建築コンクール優秀賞3回、東京都住宅賞、埼玉県下建築景観賞、SDA賞3回、建築学会作品選集選出3回、BCS賞

平成9年度 建築学科就職状況

建築学科就職事務室

平成10年3月

概況

2月末現在の平成9年度就職状況を表—1に示す。学部生の就職希望者254名(大学院51名)に対する内定者の割合は90.6%(同82.4%)となっており、平成8年度とほぼ同様な傾向である。また、大学院等への進学者を除く未内定者は、本人に就職の意志がないものを含めて24名、7.2%(同9名で16.4%)となっており、特に大学院生の場合は設計事務所希望者の割合が大きい。全体的な傾向は、年度初めに心配していた割には、それほど大きな内定率の低下もない。

以下、平成9年度就職状況について概要をまとめる。

求人会社の状況

表—2に示すように、求人申し込み会社数は4月(3月を含む)の495社をピークとして全体で1,020社となっており、前年度の943社に比べ77社の増加(8.2%増)となっている。建設業からの求人数が低下(昨年376社→本年343社)している中で、総数が増加した理由は、製造業や他業種からの求人が増加した(昨年95社→本年139社)ことなどが原因である。

この傾向は、私自身が会社面談をしていて直接感じたことでもあり、各機器メーカーなどが建築部門を併設し、総合的な業種体系を整えていこうとしている表れであろう。また、他の業種(住宅・不動産、設計事務所、建材など)からの求人数は、ほぼ前年並みまたは若干増加している程度であり、あまり際立った変化はない。

月別求人数が前年に比べ大きな変化を示したのは、本年度より就職協定が廃止されたことが大きな原因であり、ほぼ1ヵ月前倒しになったとみることができる。この傾向を示す業種別統計はないが、住宅部門や建材、製造業・営繕部門などの分野での比率が高いものと推察される。

就職内定者の内訳

2月現在までの業種別内定者の内訳について、以下に特徴的なことを挙げる。

1) 建設業への内定者(85名)は前年と同じであり、全体の24.0%を占めている。また、推薦区分でみると、教室推薦での内定者が全体で48.2%を占め、大手企業(指定15社)のみでみると78.6%に達している。不況時代にこれだけの数値を示すことは、当学科の歴史と伝統

表-1 就職状況の概況

注:()内は女子内数

	平成9年度			平成8年度		
	学部	大学院		学部	大学院	
		建築	不動産		建築	不動産
就職希望者数	254(61)	51(6)	7	240(64)	55(5)	5
就職内定者数	230(54)	42(4)	7	218(58)	46(3)	5
内定者/希望者数	90.6%	82.4%	100%	90.8%	83.6%	100%
大学院進学者数(研究生・留学生含む)	78(17)	4(1)	1	65(9)	1	2
就職・進学者数	308(71)	46(5)	8	283(67)	47(3)	7
求人会社数	1020			961		

表-2 月別求人件数 注:再募集は除く

	平成9年度	平成8年度
4月	495	159
5月	236	386
6月	195	240
7月	48	111
8月	6	27
9月	27	10
10月	5	4
11月	6	2
12月	2	4
1月	0	0
合計	1020	943

を物語るものであり、今後も学術・技術の面で、卒業生を中心とした人達の一層の活躍を期待したい。

なお、大手5社（竹中、清水、鹿島、大成、大林）への内定者は17名で、昨年の15名と比較して増加はしているもののあまり変化なく、建設業界の不況が伺われる。

2) 住宅・不動産部門への内定者は、総数では昨年（73名）に比べ本年（94名）は大幅な増加を示しているが、積水ハウスや大和ハウスなどの大手への内定は大幅なダウン（積水 14名→9名、大和 16名→10名）となっている。これらの低減をカバーしたのは旭化成ホームズ、三井ホーム、各ディーラー関連の伸びであり、総数94名は全体の26.6%を占め、建設業（24.0%）を上回った結果となった。建設業界が不況のどん底にあるからとはいえず、この結果はやはり不本意であり、多くの学生諸君が建設業へ挑戦することを期待する。また、推薦区分でみると、自由応募による内定率が高く83.0%を占めている。これは、求人が就職戦の早期に集中していることや人物評価を中心とした採用などが影響しているものと考えられる。

3) 設計事務所・インテリア関係の状況は、昨年に比べ絶対数、比率とも大幅ダウン（絶対数 59名→42名、比率 17.9%→11.9%）となっており、建設業界の不況を明確に表している。各業種の中で最も厳しい就職状況にあるといえるのではないだろうか。当然、大手事務所

の採用は激減している。

4) 官公庁・法人への内定者は10名で、昨年の9名と殆ど変化はないが、官公庁への内定者の内訳をみると、学部生の極端な増加（昨年 1名→本年 6名）が目立つ。不況下にあつて、この分野へ、より多くの学生諸君のチャレンジが期待される。

平成10年度の就職戦に向けて

平成10年度は、今年以上に厳しい就職戦線となることが予想されている。建設業は特に厳しい状態となり、求人数も激減することとなろう。しかしながら、求人社数全体でみると、今年（平成9年度）と大きな変化はないものと考えられる。建設業界の状況を冷静にみて、あまり大手企業等にとらわれることなく、自分の適性を見極め、情報収集に当たっていただきたい。また、建設関連でなくても、ユニークな会社からの求人数も増加しているので、企業及び仕事の内容を広い視野のもとでみて、選択範囲を広げることを期待する。

最後に、前年に引き続き、平成10年度も私が就職を担当することとなりました。皆さんの就職に対して、できる限りのバックアップをするつもりですので、相談ごとなどありましたら研究室まで来て下さい。

（平成9年度就職担当：井上勝夫）

研究室：582-A，TEL：03-3259-0418

表-3 求人・内定者の内訳

	求 人 会 社 数				内 定 者 数								内定者 数割合
	大企業	中企業	小企業	計	大企業		中企業		小企業		計		
					学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
A 建 設 業	96	153	94	343	6(6)	9(1)	8(1)		1		7(7)	9(1)	24.0
B 住 宅 ・ 不 動 産	30	45	23	98	6(14)	2	18(8)		9(5)		9(27)	2	26.6
C 設 備	36	45	30	111	6(1)	1		1	1		7(1)	2	2.6
D 設計事務所・インテリア	15	55	143	213	5(1)	4	6(2)	6(2)	13(5)	8	24(8)	18(2)	11.9
E 建材・エンジニアリング	32	28	8	68	4(1)	5					4(1)	5	2.5
F コンピュータ・情報	11	11	14	36					1	1	1	1	0.6
G 製造業・営繕・その他	56	54	29	139	11(2)	3	2(1)		4(3)		17(6)	3	5.6
小 計	276	391	341	1008	158(25)	24(1)	34(12)	7(2)	29(13)	9	221(50)	40(3)	73.8
H 官 公 庁 法 人				12							6(4)	1	2.0
I 大 学 院 進 学 (留 学 生 ・ 研 究 生 含 む)											78(17)	4(1)	23.1
J 自 営 業											1		0.3
総 計	1020										308(71)	46(5)	100
											354(76)		

以下の統計は学部、大学院建築学専攻に関するものである。

注：大企業...従業員500名以上，中企業...従業員100名以上，小企業...従業員99名以下，()内は女子内数，求人社数...再募集は除く。

表 - 4A 就職先の内訳 建設

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院
竹 中 工 務 店	2	1							2	1	ビ ー ・ エ ス			1						1	
清 水 建 設	2	1			1				3	1	オリエンタル建設			1						1	
鹿 島 建 設	1			1		1			1	2	福 田 組	1								1	
大 成 建 設	4					1 (1)			4	1 (1)	小 田 急 建 設	1								1	
大 林 組	2 (1)								2 (1)		穴 吹 工 務 店			1 (1)				1		2 (1)	
戸 田 建 設	1								1		ダ イ ア 建 設							4 (1)		4 (1)	
熊 谷 組	2								2		大 木 建 設	1								1	
フ ジ タ	1								1		真 柄 建 設							1		1	
三 井 建 設	1								1		大 鉄 工 業	1								1	
間 組	1								1		イ チ ケ ン							2 (1)		2 (1)	
佐 藤 工 業	1								1		ナカノコーポレーション			1						1	
西 松 建 設				1	1				1	1	松 井 建 設	1						3		4	
東 急 建 設	1								1		り ん か い 建 設			2						2	
安 藤 建 設	1								1		北 野 建 設	1								1	
五 洋 建 設		1			1				1	1	白 石			1						1	
鴻 池 組		1								1	馬 淵 建 設	1								1	
飛 鳥 建 設	1				1 (1)		1		3 (1)		日 東 建 設							1		1	
東 亜 建 設 工 業	1								1		坂 田 建 設							1		1	
住 友 建 設	1		1						2		コーナン建設							1		1	
東 洋 建 設	1								1		島 村 建 設							1		1	
鉄 建 建 設	2				1				3		今 西 組							1 (1)		1 (1)	
大 日 本 土 木							1 (1)		1 (1)		小 川 建 設				1					1	
浅 沼 組							1		1		長 田 組 土 木							1		1	
長谷コーポレーション	2		1						3		日 本 海 建 興				1					1	
不 動 建 設					1				1		松 本 岡 谷 組							1		1	
若 築 建 設	1								1		佐 藤 工 業							1		1	
川 田 工 業		1								1	山 忠 建 設							1		1	
総 計												36 (1)	5	9 (1)	2	8 (1)	2 (1)	23 (4)		76 (7)	9 (1)

表 - 4B 就職先の内訳 住宅・不動産

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院
積 水 ハ ウ ス			1		2		6		9		野 村 ホ ー ム							2 (1)		2 (1)	
大和ハウス工業	2 (1)	1					7 (1)		9 (2)	1	生 駒 商 事							1		1	
住 友 林 業							1		1		明 和 地 所							1		1	
一 条 工 務 店			1				3 (3)		4 (3)		東京セキスイハイム建設							2 (1)		2 (1)	
旭化成ホームズ							6 (1)		6 (1)		茨城セキスイハイム							1		1	
三 井 ホ ー ム					2 (1)		9 (2)		11 (3)		千葉ミサワホーム					1 (1)		2 (1)		3 (2)	
三 菱 地 所								1		1	ジ ー エ ル ホ ー ム							1 (1)		1 (1)	
ミサワホーム					1		1		2		多摩中央ミサワホーム							3 (1)		3 (1)	
エス・バイ・エル							1		1		ニューハウス工業							1		1	
中 央 住 宅					1		3		4		湘南ミサワホーム							1		1	
大 京 管 理							3 (2)		3 (2)		ト ー シ ン					1 (1)				1 (1)	
リクルートコスモス							5 (1)		5 (1)		パナホーム多摩							1 (1)		1 (1)	
藤 和 不 動 産							1		1		スターツホーム							1		1	
ス タ ー ツ							2		2		スズキハウス							1		1	
東京ミサワホーム							2		2		東京ナショナル住宅産業							2 (1)		2 (1)	
三菱地所ホーム							1 (1)		1 (1)		ナイスパーティホーム							2 (2)		2 (2)	
セキスイツーニ ホーム東京			1				1		2		トヨタホーム静岡							1		1	
エヌケーホーム			2 (1)						2 (1)		永 住 シ ョ ン							1 (1)		1 (1)	
東 急 ホ ー ム							1 (1)		1 (1)												
総 計												2 (1)	1	5 (1)		8 (3)		77 (2)	1	92 (27)	2

表 - 4C 就職先の内訳 設備

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部		大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
タカスタンダード							1		1	日比谷総合設備			1						1	
高砂熱学工業		1							1	斎久工業							1		1	
ダイダン			1						1	遠藤照明							1		1	
谷口工業							1(1)		1(1)	ダイキン空調九州				1					1	
大成温調					1				1											
										総 合		1	2		2		3(1)	1	7(1)	2

表 - 4D 就職先の内訳 設計事務所・インテリア・コンサルタント

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院			学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
NTTファシリティーズ			1						1	日 東 紡 音 響 エンジニアリング				1				1	2
東洋エンジニアリング		1							1	JR東日本建築設計事務所						1 (1)			1 (1)
池 下 設 計							1		1	タカハ都市科学研究所							1 (1)		1 (1)
Samoo Architects & Engineers								1	1	現代建築研究所			1						1
久 米 設 計								1	1	入江三宅設計事務所							1		1
丹 青 社							1 (1)		1 (1)	奥野建築設計事務所			1						1
船 場		1							1	平 安 設 計						1			1
三井デザインテック							1		1	新 環 境 設 計			1						1
ス ペ ー ス					1				1	池永設計事務所						1			1
日 本 電 気 コンストラクション								1	1	久慈建築設計事務所						1			1
安井建築設計事務所								1 (1)	1 (1)	セブテック建築研究所						1			1
石本建築事務所								1 (1)	1 (1)	テ ク ネ ッ ト			1 (1)						1 (1)
佐 藤 総 合 計 画				1					1	陽 建 設 計			1 (1)						1 (1)
エイムクリエイツ							1 (1)		1 (1)	いりえ建築設計							1		1
I.N.A.新建築事務所								1	1	功刀博文建築設計事務所					1				1
東急設計コンサルタント				1					1	DAN建築設計事務所							1		1
Ask Planning Center					1				1	井口直己建築設計事務所						1 (1)			1 (1)
日 本 板 硝 子 環 境 ア メ ニ テ イ			1						1	池原義郎建築設計事務所							1		1
桂 設 計							1		1	河野進建築設計事務所							1		1
大 一					1 (1)				1 (1)	三 宿 工 房							1		1
高橋上田設計事務所			1						1										
総 計											2	6 (2)	5	5 (2)		13 (4)	11 (2)	24 (8)	18 (2)

表 - 4E 就職先の内訳 建材・エンジニアリング

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院
ト ス テ ム			1	1					1	1	三井木材工業				1				1		2
Y K K	1(1)						1		2(1)		大 洋 工 業				2						2
メイテック							1		1												
総 計											1(1)		1	4			2	1	4(1)	5	

表 - 4F 就職先の内訳 コンピュータ・情報

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院			学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		
デジタルハリウッド								1	1	デザインテック								1	1	
総 計																	1	1	1	1

表 - 4G 就職先の内訳 製造業・営繕・その他

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計				
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部		大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院				
東 京 電 力	1	1				1			1	三 菱 倉 庫							1		1				
日 産 自 動 車									1	1							石川島運搬機械			1 (1)	1 (1)		
東 海 旅 客 鉄 道									1	1							フランスベッ メディカルサービス		1 (1)	1 (1)			
日 本 銅 管										1							松 下 産 業			1	1		
沖 電 気 工 業									1								1		松下インターテクノ		1	1	
西 武 鉄 道										2							2		木 元 省 美 堂		1	1	
N O V A										1							1		ティーエーシー企画		1 (1)	1 (1)	
ク リ ナ ッ プ									1 (1)								1 (1)		ブ ロ テ	1 (1)		1 (1)	
西 部 ガ ス																	1		1	ス ケ ナ リ		1 (1)	1 (1)
山 善																			1	1			
総 計										1	1	2 (2)		1 (1)	1	13 (3)	1	17 (6)	3				

表 - 4H 就職先の内訳 官庁・法人

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	会 社 名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部		大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
宮 内 庁							1		1	与 野 市 役 所							1 (1)		1 (1)	
建設省関東地方建設局							1 (1)		1 (1)	伊 勢 崎 市 役 所							1		1	
通 商 産 業 省							1 (1)		1 (1)	横浜市総合リハビリ テーションセンター							1 (1)		1 (1)	
東京都養護職員								1	1	日本鉄道建設公団	1								1	
東京都江東区役所							1		1	住 宅 金 融 公 庫							1 (1)		1 (1)	
総 計										1							7 (4)	2 (1)	8 (4)	2 (1)

表 - 4I 就職先の内訳 進学

注：()内は女子内数

	学部	大学院	計
日本大学大学院	64 (11)	3 (1)	67 (12)
日本大学研究生		1	1
東京農業大学大学院	1		1
横浜国立大学大学院	1 (1)		1 (1)
早稲田大学大学院	1 (1)		1 (1)
留 学 ・ そ の 他	11 (4)		11 (4)
総 計	78 (17)	4 (1)	82 (18)

表 - 4J 就職先の内訳 自営業

注：()内は女子内数

	学部	大学院	計
住宅・不動産	1		1
総 計	1		1

表 - 5 企業内定の応募方法

	学部	大学院	計	比率
教 室 推 薦	39	11	50	19.2
研 究 室 推 薦	25	12	37	14.2
縁 故 推 薦	25	3	28	10.7
自 由 応 募	131	15	146	55.9
総 計	220	41	261	100

注：官公庁，法人，大学院進学，自営業を除く

平成9年度修了生・卒業生各賞受賞者一覧

優等賞

4105 甲野 知子 斎藤研究室	6828 山田麻実子 木村研究室	4285 松尾 英次 石丸研究室
4085 金井田晃央 斎藤研究室	4307 宮里 直也 斎藤研究室	6827 山我 信秀 斎藤研究室
4308 宮澤 裕紀 平山研究室	4082 片岡 信治 安達研究室	4322 山川慶二郎 斎藤研究室
4067 小川 美奈 木村研究室	6062 建部 聖子 短期大学部	6056 高岡 ゆみ 短期大学部
6049 佐橋利枝子 短期大学部		

齋藤賞

M - 6026 須賀 啓晶 「コンクリートの“マイクロ—マクロ”破壊挙動解析」	指導：白井伸明教授
M - 6054 矢後佐和子 「人間の行動別にみた住宅床のかたさ感覚評価に関する研究」	指導：木村 翔教授，井上勝夫助教授

駿建賞

M - 6011 小野 真 「防災活動拠点としての世田谷区行政文化ゾーンの設計」	指導：高宮真介教授，佐藤慎也助手
M - 6042 中村 光恵 「近代銀行建築の機能転用に関する研究—銀行室を中心とした転用保存の事例を通して—」	指導：若色峰郎教授，渡辺富雄助手
M - 6043 新川 亮馬 「明治初期の教育施設に関する研究」	指導：関沢勝一教授
M - 6048 広瀬 大輔 「仮想音源分布の異なる舞台音場におけるソロ演奏者の主観評価に関する研究」	指導：木村 翔教授

駿構賞

M - 6033 田島 徹也 「ファイバー法を用いた非線形地震応答解析によるRC造骨組建物の損傷評価」	指導：白井伸明教授
M - 6005 江原 栄次 「弾塑性ダンパーと粘性ダンパーを併用した制振構造物の性能設計法に関する研究」	指導：石丸辰治教授

桜建賞

卒業研究	4067 小川 美奈 4150 重川 佳子 4170 鈴木隆一郎 「商業空間の音環境に関する実態把握のための基礎的研究」	指導：木村 翔教授，莊 美知子非常勤講師
	4241 野中 智子 「東北タイ・クメール建築の設計基準に関する一考察—ピーマイ遺跡の計画手法について—」	指導：片桐正夫教授，重枝 豊助手
	4044 魚津 忠弘 4058 大庭 章 「ゴム球支承を用いた対震構造システムに関する基礎的研究」	指導：石丸辰治教授，新谷隆弘助手
	4073 落合可奈子 4221 中原 英子 4322 山川慶二郎 「MJGシステムの適用性に関する基礎的研究—複層ガラス及び屋根架構への適用性について—」	指導：斎藤公男教授，岡田 章助手
卒業制作	4052 大杉 彩夏 「Square-Box 既存建物改修の可能性」	指導：石丸辰治教授，曾我部昌史非常勤講師
	4142 佐藤 崇文 「みち と 道 お茶の水駅改築計画」	指導：高宮真介教授，安達俊夫助教授
短期大学部 卒業設計	6030 神浦 泰子 「子供の育つ場所—地域に広がる小学校」	指導：小石川正男短大助教授
	6003 有賀 香 「道の駅—果実郷」	指導：吉野泰子短大助教授

奨励賞

修士論文	M - 6031 竹川 正慶 「ケーブル金物の設計法に関する研究—中間クランプ金物の把握力の実験と算定方式について—」	指導：斎藤公男教授
	M - 6055 矢代 瑞昌 「障害児交流教育を考慮した学校建築計画のあり方に関する研究—心身に障害がある児童とない児童との交流深度に影響を与える要因分析—」	指導：野村 敏教授，八藤後 猛助手
卒業制作	4330 山田 徹 「参加型図書館 小学校の保存と再生」	指導：高宮真介教授，小嶋勝衛教授

企画奨励賞

4040 岩松 正剛 4076 尾野 健 「The Fusion 都市と公園の融合・高知市補完計画」 指導：根上彰生助教授

駿建コンペティション業績賞

（平成9年度新設：近江栄名誉教授より寄贈された基金による）

M-6017 榎田 直 所属：若色研究室

桜工賞

M-6003 糸島 光洋	在学中、6回の設計コンペティションに入賞、建築学生の意識向上に貢献	所属：若色研究室
M-6005 江原 栄次	建築学科計算機システム管理者として、学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：石丸研究室
M-6026 須賀 啓晶	建築学科計算機システム管理者として、学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：白井研究室
M-6033 田島 徹也	建築学科計算機システム管理者として、学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：白井研究室
M-6009 劉 銑鐘	韓国語・日本語通訳のボランティアとして、日韓友好に貢献	所属：小嶋研究室
4153 渋谷 和正	建築学科計算機システム管理者として、学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：本杉研究室
4192 高橋 昌裕	卒業アルバム編集・刊行にクラスのまとめ役として貢献	所属：片桐研究室
4201 田代 祐造	建築展実行委員長として、建築展の企画・実施に貢献	所属：関沢研究室
4349 渡辺 康弘	在学中を通して荒川区の身体障害者に対する介護ボランティアとして活躍	所属：斎藤研究室
6062 建部 聖子	クラス幹事としての貢献	短期大学部
6063 田辺 雅則	クラス幹事としての貢献	短期大学部

不動産科学専攻研究奨励賞^{*1}

M-6008 谷内田武宣 「不動産事業史より捉えた新大阪鉄道沿線の分譲住宅地開発事業の研究」 指導：浅香勝輔教授
M-6009 劉 銑鐘 「日本におけるリバース・モーゲージ制度の利用促進に関する研究 ―東京都における利用実態とシミュレーション分析をとおして―」 指導：小嶋勝衛教授，根上彰生助教授，宇於崎勝也助手

日本環境管理学会賞^{*2}

M-6005 中村 智彦 「AHP手法を用いた道路整備総合評価に関する研究」 指導：榎澤芳雄教授，三橋博巳助教授

* 1 大学院不動産科学専攻専任教員の基金に，平成8年度をもって定年となった佐藤進非常勤講師（元・専任教授）から寄せられた基金を加え，不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる。
* 2 日本環境管理学会から不動産科学専攻にその運営を委託された基金により，大学院不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる。（平成7年度新設，旧・日本環境管理学会会長賞）

卒業生就職先・研究課題一覧

平成9年度

大学院博士後期(博士)課程

学生番号	氏名	就職先	論文題目
若色峰郎教授			
D-5001	Lorena Alessio	帰国	建築ファサード構成からみた形態の知覚に関する研究 —トリノと東京の比較研究—
小嶋勝衛教授・根上彰生助教授			
D-5001	李 民和	帰国	中規模都市の都心居住に関する研究 —居住機能確保と市街地整備—

企画奨励賞

4040 岩松 正剛 4076 尾野 健 「The Fusion 都市と公園の融合・高知市補完計画」 指導：根上彰生助教授

駿建コンペティション業績賞

（平成9年度新設：近江栄名誉教授より寄贈された基金による）

M-6017 櫛田 直 所属：若色研究室

桜工賞

M-6003 糸島 光洋	在学中、6回の設計コンペティションに入賞、建築学生の意識向上に貢献	所属：若色研究室
M-6005 江原 栄次	建築学科計算機システム管理者として、学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：石丸研究室
M-6026 須賀 啓晶	建築学科計算機システム管理者として、学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：白井研究室
M-6033 田島 徹也	建築学科計算機システム管理者として、学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：白井研究室
M-6009 劉 銑鐘	韓国語・日本語通訳のボランティアとして、日韓友好に貢献	所属：小嶋研究室
4153 渋谷 和正	建築学科計算機システム管理者として、学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：本杉研究室
4192 高橋 昌裕	卒業アルバム編集・刊行にクラスのまとめ役として貢献	所属：片桐研究室
4201 田代 祐造	建築展実行委員長として、建築展の企画・実施に貢献	所属：関沢研究室
4349 渡辺 康弘	在学中を通して荒川区の身体障害者に対する介護ボランティアとして活躍	所属：斎藤研究室
6062 建部 聖子	クラス幹事としての貢献	短期大学部
6063 田辺 雅則	クラス幹事としての貢献	短期大学部

不動産科学専攻研究奨励賞^{*1}

M-6008 谷内田武宣 「不動産事業史より捉えた新大阪鉄道沿線の分譲住宅地開発事業の研究」 指導：浅香勝輔教授
M-6009 劉 銑鐘 「日本におけるリバース・モーゲージ制度の利用促進に関する研究 ―東京都における利用実態とシミュレーション分析をとおして―」 指導：小嶋勝衛教授，根上彰生助教授，宇於崎勝也助手

日本環境管理学会賞^{*2}

M-6005 中村 智彦 「AHP手法を用いた道路整備総合評価に関する研究」 指導：樺澤芳雄教授，三橋博巳助教授

- * 1 大学院不動産科学専攻専任教員の基金に，平成8年度をもって定年となった佐藤進非常勤講師（元・専任教授）から寄せられた基金を加え，不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる。
- * 2 日本環境管理学会から不動産科学専攻にその運営を委託された基金により，大学院不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる。（平成7年度新設，旧・日本環境管理学会会長賞）

卒業生就職先・研究課題一覧

平成9年度

大学院博士後期(博士)課程

学生番号	氏名	就職先	論文題目
若色峰郎教授			
D-5001	Lorena Alessio	帰国	建築ファサード構成からみた形態の知覚に関する研究 —トリノと東京の比較研究—
小嶋勝衛教授・根上彰生助教授			
D-5001	李 民和	帰国	中規模都市の都心居住に関する研究 —居住機能確保と市街地整備—

大学院博士前期(修士)課程

学生番号	氏 名	就職先	論文題目
石丸辰治教授 ————— ・ 建築学専攻 ・			
M - 6005	江原 栄次	川田工業(株)	弾塑性ダンパーと粘性ダンパーを併用した制振構造物の性能設計法に関する研究
M - 6009	岡本 博通	㈱東急設計コンサルタント	曲げ降伏型、せん断降伏型弾塑性ダンパーを有する骨組構造物の振動特性に関する研究
片桐正夫教授 ————— ・ 建築学専攻 ・			
M - 6002	李 芝海	理工学研究所研究生	韓国における文化財保護に関する史的研究 —近代建築物の保存を中心に—
M - 6012	春日 仁一	INA 建築研究所	明治—昭和戦前期の建築界における茶室論考に関する研究 —建築家の茶室に対する視点の再評価—
M - 6046	半谷 彰英	池原義郎建築設計事務所	ヴェトナム阮朝建築における寸法計画と工法に関する基礎的研究
M - 6058	鄭 秉賢	未定	近代韓国の建築教育に関する基礎的な研究 —1876年から1950年における学制政策の変遷とソウル大学校の系譜を中心として—
木村 翔教授・井上勝夫助教授 ————— ・ 建築学専攻 ・			
M - 6032	武田 充弘	博士後期課程進学	集合住宅の外部騒音レベルと居住者意識に関する研究
M - 6038	千葉 俊	高砂熱学工業(株)	ホール内音場における音に包まれた感じの定量化手法に関する研究
M - 6040	豊田 雅士	大和ハウス工業(株)	ボイドスラブを対象とした重量床衝撃音の予測手法に関する研究
M - 6048	広瀬 大輔	日東紡音響エンジニアリング(株)	仮想音源分布の異なる舞台音場におけるソロ演奏者の主観評価に関する研究
M - 6054	矢後佐和子	大成建設(株)	人間の行動別にみた住宅床のかたさ感覚評価に関する研究
M - 6056	吉田 俊也	NEC コンストラクション(株)	数値シミュレーションからの合成音場における両耳のインパルス応答の作成手法に関する研究
小嶋勝衛教授・根上彰生助教授 ————— ・ 建築学専攻 ・			
M - 6024	清水 威史	㈱船場	特定商業集積整備法による地域活性化に関する研究 —高度商業集積型の事例分析を通して—
M - 6036	丹藤 玲	日産自動車(株)	敷地条件からみた街並み誘導型地区計画制度の運用手法に関する研究 —地区整備計画による建替えシミュレーションを通して—
M - 6037	崔 成源	SAMOO Architects and Engineerse (韓国)	汝矣島広場の再生と近代美術館の設計 —ソウル市の新文化拠点の創出—
M - 6059	陳 世銘	帰国	産業情報交流拠点としての技術支援センターの計画と設計 —台湾中北部工業地域をケーススタディとして—
斎藤公男教授 ————— ・ 建築学専攻 ・			
M - 6004	今井 克彦	清水建設(株)	軽量大規模片持式屋根構造の耐風計画に関する基礎的研究 —風荷重の評価及び力学挙動—
M - 6010	小野塚真規	三井木材工業(株)	木造張弦梁構造の構造計画に関する基礎的研究 —クリープ性状と最適設計手法について—
M - 6018	久保田 淳	鹿島建設(株)	矩形平面を有するテンション・グリッド・ドーム (TGD) の力学性状に関する基礎的研究
M - 6031	竹川 正慶	西松建設(株)	ケーブル金物の設計法に関する基礎的研究 —中間クランプ金物の把握力の実験と算定方式について—

M - 6034	田中 晃	太陽工業(株)	小規模なテンポラリー・スペースに関する一考察
M - 6035	田中佳奈子	(株)石本建築事務所	ファサードに用いるテンセグリック・トラスの力学特性に関する基礎的研究
M - 6057	力瀬 康介	太陽工業(株)	ヴォールト型張力膜構造の合理化に関する実験的研究 —応力弛緩現象の評価と膜による支持架構の安定化について—

白井伸明教授 ————— ・ 建築学専攻 ・

M - 6026	須賀 啓晶	入江三宅設計事務所	コンクリートの “ ミクロ—マクロ ” 破壊挙動解析
M - 6033	田島 徹也	東洋エンジニアリング(株)	ファイバー法を用いた非線形地震応答解析による RC 造骨組建物の損傷評価

関口克明教授 ————— ・ 建築学専攻 ・

M - 6016	木村 文紀	日東紡音響エンジニアリング(株)	マルチマイクロフォンシステムを用いた超小型音響縮尺模型実験手法に関する研究
M - 6029	鈴木 直行	(株)遠藤照明	視環境評価における眼球運動と印象の関係について —建築環境評価における生理応答の導入に関する研究—
M - 6045	野中 俊宏	トステム(株)	視覚障害者音声誘導装置の現状とコンピュータ支援による誘導システムの検討 —視覚障害者の歩行環境バリアフリー化に関する研究—

関沢勝一教授 ————— ・ 建築学専攻 ・

M - 6008	岡田 真人	日本大学大学院	地域施設としての小学校の建築計画的な研究
M - 6014	喜内 厚	デジタルハリウッド	行動情報の評価手法としての空間シミュレーションに関する研究
M - 6023	島田 健司	未定	地域対応モデル住宅の作成方法とその役割に関する研究 —首都圏の HOPE 仕様住宅の実績と評価を通じた考察—
M - 6025	下川 拓哉	DAN 建築設計事務所	小学校建築における教師スペースに関する研究
M - 6027	鈴木 亨	(株)竹中工務店	知的発達障害養護学校における自閉症児の学習展開と学習空間に関する研究
M - 6028	鈴木 大介	五洋建設(株)	生活科導入に伴う小学校の学習環境整備に関する研究
M - 6043	新川 亮馬	(株)久米設計	明治初期の教育施設に関する研究

高宮真介教授 ————— ・ 建築学専攻 ・

M - 6006	大坪 正佳	未定	足立区柳原小学校の改築 —地域防災対応エネルギーシステムによる計画と設計—
M - 6011	小野 真	未定	防災活動拠点としての世田谷区行政文化ゾーンの設計

野村 勲教授・石田道孝講師 ————— ・ 建築学専攻 ・

M - 6020	小島 猛	東京都（教員）	教員の視点を考慮した都立肢体不自由養護学校の建築計画における研究
M - 6049	福原 康司	(株)新環境設計事務所	痴呆の程度を考慮した高齢者グループホームの建築環境に関する研究
M - 6051	本田 敬嗣	いりえ建築設計事務所	高齢者・障害者のための住宅相談支援システムの構築
M - 6055	矢代 瑞昌	横浜市総合リハビリテーションセンター	障害児交流計画を考慮した学校建築計画のあり方に関する研究
M - 6015	金 銀照	日本大学大学院	床面に段差がある住宅の空間研究
M - 6060	山崎 敏	トシ・ヤマサキまちづくり総合研究所	短期滞在型施設と長期療養施設の生活空間構成の一考察

半貫敏夫教授 ————— ・ 建築学専攻 ・

M - 6019	小泉 豪	三菱地所(株)	南極におけるアイスドーム構造の使用限界評価に関する実験的研究
M - 6030	高橋 弘樹	理工学研究所研究生	鉄骨構造柱の塑性変形性能とその改良に関する解析的研究

平山善吉教授 ————— ・ 建築学専攻 ・
M - 6021 小室 徹郎 三井木材工業㈱ 筋かいを有する木質耐力壁に関する実験的研究
— LVL 材と集成材を用いた実大耐力壁のせん断実験を通して —

本岡順二郎教授 ————— ・ 建築学専攻 ・
M - 6052 丸野 浩 ㈱鴻池組 プレテンション・ポストテンション合成梁の曲げ耐力と破壊性状に
に関する実験的研究
M - 6053 皆川 光一 沖電気工業㈱ ハーフプレキャスト PC 梁のせん断強度に関する実験的研究

若色峰郎教授 ————— ・ 建築学専攻 ・
M - 6003 糸島 光洋 ㈱佐藤総合 東京都新美術館の計画と設計 —現代美術と空間—
M - 6017 櫛田 直 KAJIMA DESIGN 環境教育施設の計画と設計 —霞ヶ浦環境センターの提案—
M - 6039 千葉 忠克 ㈱現代建築研究所 生涯学習施設における「つなぎ空間」の基礎的研究
—東京都における生涯学習センターを通して—
M - 6041 中村 敏子 ㈱安井建築設計事務所 兼用形態からみた生涯学習空間の計画に関する研究
—横浜市地区センターの場合—
M - 6042 中村 光恵 未定 近代銀行建築の機能転用に関する研究
—銀行室を中心とした転用保存の事例を通して—

安達俊夫助教授 ————— ・ 建築学専攻 ・
M - 6050 星 智典 東京電力㈱ セメント改良砂の力学特性に関する実験的研究

本杉省三助教授 ————— ・ 建築学専攻 ・
M - 6001 石井 雅也 未定 松本文化生活館 —舞台芸術とセラピー活動を通じた施設の設計—
M - 6047 平林 みか 未定 博物館における映像を中心としたマルチメディア展示の研究

小嶋勝衛教授・根上彰生助教授 ————— ・ 不動産科学専攻 ・
M - 6002 木寺 喜幸 戸田市役所 合併市町村における地域整備方策に関する研究
—「建設計画書」の分析を通して—
M - 6003 中条 幸司 鹿島建設㈱ 東京都心部における低容積充足率街区の建替え促進に関する研究
—街並み誘導型地区計画制度によるモデル地区の分析—
M - 6004 寺岸 歩 ㈱アール・アイ・エー 駅前再開発による連結デッキの設置が歩行者流動に与える影響
—駅と周辺市街地の連続性の確保にむけて—
M - 6009 劉 銑鍾 日本大学大学院 日本におけるリバース・モーゲージ制度の利用促進に関する研究
—東京都における利用実態とシミュレーション分析をととして—

三橋博巳助教授・榛澤芳雄教授 ————— ・ 不動産科学専攻 ・
M - 6005 中村 智彦 ㈱ダイエー AHP手法を用いた道路整備総合評価に関する研究
—国道51号を中心として—
M - 6010 輪湖 元弘 習志野市役所 旅行時間を用いた施設配置に関する研究 —千葉市を中心として—

小嶋勝衛教授・榛澤芳雄教授 ————— ・ 不動産科学専攻 ・
M - 6013 福田 圭子 帝都高速度交通営団
(社会人大学院生) 地下鉄建設における阻害要因に関する研究 —半蔵門線を中心として—

小嶋勝衛教授・田中啓一教授 ————— ・ 不動産科学専攻 ・
M - 6006 本間 勝 住友石炭鉱業㈱ 公園計画・建設及び管理における住民参加方式に関する研究
—首都圏の住民参加型公園をケーススタディとして—

浅香勝輔教授

・不動産科学専攻・

M - 6008 谷内田武宣 九州旅客鉄道
M - 6012 富加見好範 共立建設(株)
(社会人大学院生)

不動産事業史より捉えた新京阪鉄道沿線の下譲住宅地開発事業の研究
「宅地開発等指導要綱」の改訂による土地利用の変質に関する基礎
的研究 ―横浜市的事例分析を通して―

横内恵久教授

・不動産科学専攻・

M - 6011 竹沢 俊幸 鎌ヶ谷市役所
(社会人大学院生)

まちづくりにおける地方自治体の役割について
―地区計画事例を通じて―

学部

氏名の右肩*印は企画経営コース，無印は建築学コース
を表す。

学生番号 氏 名 就職先 論文題目

浅香勝輔教授

4348 渡辺 真* 西武鉄道(株)
4180 高落 亮* 日本鉄道建設公団
4346 若林 正也 日本大学大学院

わが国初の大規模団地としての香里団地の歴史的考察
―建設時から昭和40年代まで―
昭和戦前期に築造された民営鉄道高架軌道下空間の活用に関する
歴史的研究



石丸辰治教授・新谷隆弘助手

4052 大杉 彩夏 日本大学大学院
4285 松尾 英次 ㈱竹中工務店
4058 大庭 章 日本大学大学院
4044 魚津 忠弘 日本大学大学院

確率過程を用いたバイリニア型粘性ダンパーを
有する系の応答に関する基礎的研究
弾塑性ダンパーによるRC構造物の制震改修に関する基礎的研究
ゴム球支承を用いた対震構造システムに関する基礎的研究



片桐正夫教授・大川三雄助手・重枝 豊助手

3277 森 謙一 安藤建設(株)
4001 青木 明宏 留学
4021 石津 菜央 日本大学大学院
4060 大山亜紀子 日本大学大学院
4049 大内 健蔵 日本大学大学院
4096 木ノ内美央* MCコーポレーション
4192 高橋 昌裕 日本大学大学院
4191 高橋 正時 日本大学大学院
4211 為田 悟 日本大学大学院
4229 中村日出夏 横浜国立大学大学院
4241 野中 智子 野村ホーム(株)
4246 服部 竜太 理工学研究所研究生
4292 松永 敏宏 島村工業(株)

建築家・石川純一郎の建築活動と
その理念 ―建築を中心とする「総合芸術」の模索―
チェコ・キュビズムの展開に関する史的研究
―近代建築史上における位置づけ―
クメール宗教建築の開口部に関する基礎的研究
―開口部の建築技術に関する一考察―
ベトナム仏教建築の基礎的研究
―仏教寺院の伽藍配置と建築技術に関する一考察―
日本における木造建築近代化過程にみる試練と革新
アントニン・レーモンドにみる「日本建築」観の変遷
ランドスケープ・デザイナー、イサム・ノグチの作品と造形思想
インド・ヒンドゥー教寺院の平面計画に関する一考察
建築家ヴァルター・グロピウスの作品系譜にみる建築思想とその実践
建築家・Henri Labroustの作品と空間概念
東北タイ・クメール建築の設計基準に関する一考察
都市計画家としてのオットー・ワグナー
―3つの計画案に示された時代精神の変容―
京町家の平面構成と庭・通り庭の関係について
―間口と奥行きを中心として―



4296	馬淵 晋作	旭化成ホームズ㈱	雑誌掲載記事に見る昭和戦前期のアパートメントハウスの動向
4340	吉田 仁	西部ガス株	京町家の玄関に関する一考察
4342	吉野百合江	江口直巳建築設計事務所	窓と平面にみる茶室の空間構成 — 燕庵形式を中心とした考察
6814	坂井 彩子	留学	山脇 巖の建築活動とその意義
6801	阿部 真弓	未定	都市空間解説における一考察 — 空間・奥・隙間 —

木村 翔教授・井上勝夫助教授・橋本 修助手・荘美知子非常勤講師



4067	小川 美奈	千葉ミサワホーム㈱	商業空間の音環境に関する実態把握のための基礎的研究
4150	重川 佳子	穴吹工務店㈱	
4170	鈴木隆一郎	タカラスタンダード㈱	
4070	小田 康太	三井ホーム㈱	人間の行動別にみた住宅床の居住性と床弾性との対応に関する研究
4097	木下久美子	エヌケーホーム㈱	
4305	三藤可奈子	三菱地所ホーム㈱	
4104	監物 久夫	大和ハウス工業㈱	集合住宅居住者の屋外騒音に対する意識に関する研究
4244	橋本 美穂	ナイスハーティホーム㈱	
4313	森 万里子	大和ハウス工業㈱	
4224	中林 仁	積水ハウス㈱	歩行衝撃シミュレータの開発と床の振動応答特性に関する研究
4258	平間 康泰	積水ハウス㈱	
4320	山内 崇	日本大学大学院	
4222	中原 浩二	大和ハウス工業㈱	ボイドスラブの重量床衝撃音に影響を与える要因に関する研究
4288	松澤 友貴	日本大学大学院	
4112	小林 孝志	日本大学大学院	
4125	今野 真之	大成温調㈱	管路系固体音の発生源特性に関する研究
4114	小林 裕昌	日本大学大学院	
4144	佐藤 勝	日本板硝子環境アメニティ㈱	
6828	山田麻美子	与野市役所	ホールの形状による音響特性の特徴と視覚化に関する基礎的研究
4024	石原 智也	積水ハウス㈱	
4206	田中真由美	㈱テクネット	
4143	佐藤 豊成	日本大学大学院	両耳受聴による数値シミュレーションからの合成音場に関する研究
4003	青野 順宏	三井ホーム㈱	
4230	中山 健志	東急建設㈱	



小嶋勝衛教授・根上彰生助教授・宇於崎勝也助手

4004	青柳 忠宏	㈱平安設計	散策行動にもとづく市街地景観の認知に関する研究 — 滋賀県長浜市のケーススタディを通して —
4023	石永 英丈	㈱長谷工コーポレーション	
4079	上村 康之	東海旅客鉄道	
4240	根岸 隆平	伊勢崎市役所	商店街整備後におけるまちづくりの変遷に関する研究 — 横浜市馬車道商店街をケーススタディとして —
4040	岩松 正剛	日本大学大学院	
4076	尾野 健	積水ハウス㈱	
4168	鈴木菜穂子	早稲田大学大学院	緑地協定区域における緑地の維持管理体制に関する研究 — 千葉市緑化推進協議会加盟区域の集合住宅の事例分析を通して —
4207	田中 善英	積水ハウス㈱	
4046	江尻 真樹	東京農業大学大学院	
4260	平山 裕之	西武鉄道㈱	
4325	山口 陽子	㈱インタービジョン	

4075	鬼山 功	日本大学大学院	}	公営競技施設の市民への開放促進に関する研究 —地方競馬における事例分析を通して—
4080	春日藤一郎			
4254	半田 智隆	江東区役所		
4339	吉田 倫子	㈱タカハ都市科学研究所		
4267	福屋 大輔	松下インターテクノ	}	災害時における井戸の有効活用に関する研究 環境共生型住宅の経済的效果に関する研究 —従来型住宅と環境共生型住宅のライフサイクルコスト分析の比較を通して—
4284	益田 健	三井ホーム㈱		
3128	桜岡 研	㈱木元省美堂		「ボイ捨て禁止条例」の実態に関する研究

斎藤公男教授・黒木二三夫(短大)講師・岡田 章助手



4086	金子みゆき	日本大学大学院	}	ケーブル構造における 中間金物の実験的研究
3009	阿部 晃久	大和ハウス工業㈱		
4196	鷹羽 直樹	日本大学大学院	}	ヴォールト型骨組膜構造の合理化に関する実験的研究
6821	田崎 亮子	飛島建設㈱		
6827	山我 信秀	㈱NTTファシリティーズ		
4221	中原 英子	日本大学大学院	}	MJGシステムの適用性に関する基礎的研究 —複層ガラス及び屋根架構への適用性について—
4322	山川慶二郎	日本大学大学院		
4073	落井可奈子	㈱イチケン		
4085	金井田晃央	日本大学大学院	}	木質系ハイブリッド構造に関する研究 —張弦梁構造のクリープ性状とケーブル補剛アーチの提案—
4105	甲野 知子	住宅金融公庫		
4157	清水 洋平	大成建設㈱	}	イベント、休憩所に用いられるテンポラリー・スペースに関する —考察
5836	八木 崇	YKK ㈱		
4307	宮里 直也	日本大学大学院	}	テンションリングを有する放射型ケーブル屋根構造の基本的振動 性状に関する実験的研究
4349	渡辺 康弘	㈱白石建設		
6829	山本 淳子	大京管理㈱		
4169	鈴木 実	日本大学大学院	}	テンション・グリッド・ドーム (TGD) の力学特性に関する実験 的研究
3199	長野 太星	㈱NOVA		
5601	鈴木 幹彦	日本大学大学院	}	テンセグリック・トラスに関する実験的研究
4116	小林 正行	三井建設㈱		
4255	パラムピラシュジョシ	㈱熊谷組		
6802	市川 敬介	長田組土木㈱		

白井伸明教授・森泉和人助手



4152	洪田敬一郎	若築建設㈱	}	正負繰返し荷重を受ける RC柱の変形性能に関する研究
4310	村岡 恒典	鉄建建設㈱		
4087	上岡 響	日本大学大学院	}	粒子モデルによるコンクリート構造物の破壊解析
4289	松下 幸治	㈱ハザマ		
4297	間宮 康尚	東亜建設工業㈱		
4032	井上 博登	日本大学大学院	}	兵庫県南部地震で被災したRC骨組建物の地震応答解析
4248	花井 則行	大成建設㈱		
4278	堀井 敏明	飛島建設㈱		
4089	亀井 光	小田急建設㈱	}	RC構造物の寸法効果に関する研究
4178	平良 修一	未定		
4314	森川 譲治	清水建設㈱		
4113	小林 利禎	大木建設㈱	}	現状の耐震診断の問題点とその検討
4166	鈴木 昌幸	㈱長谷工コーポレーション		
4315	森谷 寛	日本大学大学院		

関口克明教授



4054	大竹 潤	積水ハウス(株)	}	集合住宅の居住下における複合環境の測定とその評価法に関する検討
4156	島宗淳一郎	日本大学大学院		
4341	吉田 寛昭	セキスイツーユーホーム東京(株)		
6825	村瀬 慶三	不動建設(株)		
4215	辻 俊充	トステム(株)	}	視覚障害者歩行環境バリアフリー化に関する研究 —市街地における音声誘導装置の実態について—
4223	仲原 雅美	ナイスハーティホーム(株)		
6815	柴原 究	野村ホーム(株)		
4051	大久保晃也	東京ミサワホーム(株)		
4256	一鉄田純子	(株)千葉ミサワホーム	}	光ファイバー照明の配光に関する基礎的研究
6818	高橋 夏絵			
4126	合田奈緒子	日本大学大学院		
4266	福永 瑞晶	東京ナショナル住宅産業(株)		
4343	依田 貴晃	デジタルハリウッド	}	視環境評価における眼球運動測定装置の導入に関する基礎的研究
6816	鈴木理恵子	大京管理(株)		
4158	清水 理絵	三井ホーム(株)		
4171	須田 雅恵	日本大学大学院		
4190	高橋 利武	ダイア建設(株)	}	超小型音響模型実験における問題点と測定誤差の検討
6826	室橋 又也	日本大学大学院		

関沢勝一教授・佐藤直樹助手



3082	神谷 武志	留学	}	パブリックアート（屋外彫刻）と公的空間
3137	佐野 英介	五洋建設(株)		風水思想における琉球建築
4011	飯塚多賀彦	未定		学校の変化に対する障害児学級空間の研究
4043	植原 淳一	日本大学大学院		高齢化・少子社会における集合住宅のあり方について —『家族から大家族に』『個人から共同体に』であろうか—
4057	大橋 宗剛	住友林業(株)	}	病院建築の歴史とナイチンゲールによるその概念
4063	岡村美佐樹	未定		光と陰がつくり出す空間に関する研究
4106	郡山 馨	日本大学大学院		近代学校建築の導入とその類型化をみるまで
4111	小西 崇弘	(株)一条工務店		オープンスペースに伴う学校建築のあり方
4118	小松 大輔	積水ハウス(株)	}	地域の核となる教育施設
4137	佐々木雅浩	留学		少子高齢社会に対応する施設づくり
4154	島田 誉子	未定		ルイス・I・カーン —その手法と次世代アメリカ建築への影響—
4173	住谷 寛	日本大学大学院		肢体不自由養護学校と普通学校における今後の展開について —「学校教育法」制定・施行から51年目を迎えて—
4181	高木真之介	桂設計	}	生涯学習と学校の関係 —充実した学習をあなたの手で—
4183	高木 陽子	(株)大林組		保育施設の色彩計画
4201	田代 祐造	未定		教育施設と地域生涯学習 —理念、理論、実践—
4205	田中 利行	日本大学大学院		現代日本の小学校建築・その動向と展望 —学校建築の歴史的推移の現代学 校建築の動線解析による空間集合に関する基礎的研究—
4231	中山 満勝	日本大学大学院	}	教育と形態の変遷による子供への影響
4293	松本 小咲	大和ハウス(株)		少子社会における集合住宅のあり方に関する研究
4309	宮本 博史	大和ハウス(株)		少子化に対応する施設としての保育
4332	山中富士子	日本大学大学院		学校建築における色彩計画

高宮真介教授・佐藤慎也助手



3228	原田 智	未定	歴史的視点からみた玄関
------	------	----	-------------

4066	小川 悟史	(有)川鍋智子建築設計室	W.カンディンスキー考 —思想と作品・理論に関する研究—
4078	影山 智康	未定	横浜地区センターについてのプログラム作成におけるクライテリア設定
4123	近藤 創順	日本大学大学院	建築家による工業化住宅への試み —新たな環境への実験住宅—
4130	齋藤 文子	未定	昭和における小住宅ブーム —機能主義者・池辺陽の姿勢をとおして—
4142	佐藤 崇文	日本大学大学院	中央停車場（東京駅）完成までにおける鉄道の建築的事象
4182	高木 哲彦	大成建設(株)	THE ENDS OF THE MUSEUM
4227	中村 慎吾	未定	Luis Barragan Landscape
4270	藤原 正孝	未定	ランドスケープにおけるイサム ノグチの視点
4286	松崎 正寿	日本大学大学院	19世紀の『鉄の時代』における大スパン構造の架構とデザイン —博覧会建築、Crystal Palace、Palace des Machinesをとおして—
4316	茂呂 栄明	未定	ミース・ファン・デル・ローエの壁に関する考察
4328	山崎 隆嗣	未定	システムティック・ハード・タウン —幕張ベイタウンの功と罪—
4330	山田 徹	日本大学大学院	15世紀—19世紀の図書館空間の変遷

野村 欽教授・八藤後 猛助手

4028	伊藤 恭子	日本大学大学院	病院・高齢者施設の癒しの環境における色彩の研究
4045	梅原 朝枝	(株)リクルートコスモス	痴呆性高齢者グループホームの検証
4077	垣中 太郎	三井ホーム(株)	教員の視点を考慮した都立肢体不自由養護学校における研究
4301	水瀬真知子	建設省関東地方建設局	
4092	川口 貴嗣	旭化成ホームズ(株)	ビデオ解析手法 動作解析に関する基礎的研究
4133	坂田 真裕	スターツ(株)	
4193	高橋 保恵	旭化成ホームズ(株)	「ユニバーサルデザイン」の概念に関する研究
4129	齋藤 文	ジエールホーム(株)	
4220	中澤 恭一	(株)千葉ミサワホーム	住環境整備による生活動作と福祉サービスの利用状況の変化に関する調査研究
4145	佐藤 優子	フランスベットメディカルサービス(株)	
4160	白石 優	旭化成ホームズ(株)	ユニバーサルデザインの観点から見た椅子
4176	関 幸永	松本岡谷組	現在の住宅における高齢化対策調査
4208	谷岡 創	旭化成ホームズ(株)	
4243	橋本 寛之	宮内庁	身体障害者福祉センターB型にみるリハビリテーション施設の地域化についての調査研究
4338	吉田 隆	(株)大林組	日本の住宅における段差の発生とその過程について
3046	梅原 京子	(株)一条工務店	居住空間とにおいにおける問題点と解決方法について

半貫敏夫教授・森泉和人助手

4041	上園 和茂	茨城セキスイハイム(株)	アイスドーム構法の使用限界評価パラメータの検討
4151	柴田 正明	ダイキン空調九州(株)	
4269	藤本 尚弘	(株)中央住宅	81年以前の旧基準法で設計された中層建物の耐震性について
4095	韓 昶	日本大学大学院	
4273	古旗 謙介	りんかい建設(株)	南極昭和基地建物の木質パネル構造要素に関する実験的研究
4291	松永 大輔	西松建設(株)	
4071	尾台 佳正	(株)小川建設	
4088	亀井 克典	(株)セブテック建築研究所	
4335	由井 健太	専門学校進学	

4008	有賀 睦	三井ホーム(株)
4039	岩瀬 知子	(株)一条工務店
4253	原田 卓次	リクルートコスモス(株)
0174	関 崇彦	トヨタホーム静岡(株)

個別要素法による屋根上積雪の滑落・堆積シミュレーション

平山善吉教授・斉藤俊一助手

4007	新井 章孔	佐藤工業(株)
4042	上田 浩子	石川島播磨重工業(株)
4065	小笠原有紀	住友建設(株)
4184	高島 大輔	(株)熊谷組
4186	高野 圭司	戸田建設(株)
4197	田川 正憲	三井ホーム(株)
4226	中村 聡	清水建設(株)
4249	早房 亮子	YKK 建設(株)
4275	星野 祐一	馬淵建設(株)
4280	本間 正	松井建設(株)
4308	宮澤 裕紀	日本大学大学院
4326	山崎 茂	積水ハウス(株)
6830	若林 光男	松井建設(株)
2148	鈴木 繁之	就職希望せず

南極昭和基地第2居住棟の接合部の実験及び解析



本岡順二郎教授・中山 優(短大)講師

4013	生野 俊介	松井建設(株)
4093	川崎奈津子	パナホーム
4101	久保田三郎	住友建設(株)
4165	杉本 理恵	トーシン
4177	蘇原 啓道	三井ホーム(株)
4189	高橋 鉄平	山善
4268	藤巻 郁雄	大成建設(株)
4318	矢崎 拓生	鹿島建設(株)
3104	小暮 孝和	三菱倉庫(株)
4159	下里 晋	オリエンタル建設(株)
4198	武居 純一	(株)リクルートコスモス
4334	山本 剛史	日本大学大学院
4336	油井 智行	ナカノコーポレーション
4344	竜石堂 智	鉄建建設(株)
3139	塩澤 敏康	りんかい建設(株)
3190	寺井 淳	ニューハウス工業
3222	畑中 信夫	(株)長谷工コーポレーション
3298	吉村 正武	(株)ピー・エス

複合化工法を用いたPC合成梁のせん断性状に関する実験的研究

複合化工法を用いたPC合成梁の曲げ性状に関する実験的研究



吉田あきら教授・蜂巢浩生助手

4026	板橋 友佳	日本大学大学院
3238	藤生康次郎	安藤建設(株)

ケージ内環境の捉え方



4091	川口 高志	セキスイツーユーホーム東京(株)	身体障害者の温熱環境について —ASHRAE STANDARDにおける頸髄損傷者の快適性 その2—
4210	谷本 勲	ダイダ(株)	
4251	原 太一	日比谷総合設備(株)	
4298	川上 功生	日本大学大学院	
6822	所 真由美	(株)一条工務店	
3227	原 紳一郎	斎久工業(株)	
3284	山口 正樹	大鉄工業(株)	
4103	隈部 健介	東京ミサワホーム(株)	住空間における台所の中央化とその問題と対策 —台所を中心としたコミュニケーション—
3109	小林 晴美	クリナップ(株)	狭小的日本の台所へのサーキュレーションキッチン導入の提案
3169	滝沢 晃生	デザインテック(株)	日本の台所の歴史と西欧化に対する問い

若色峰郎教授・渡辺富雄助手

4055	大貫 真樹	未定	都市のオープンスペースに関する研究 —高層ビルの足元の広場について—
4061	岡 淳一	日本大学大学院	街路から建築へ —狭隘街路空間の研究—
4155	島田 智和	未定	障害者複合施設のための計画とデザインについて —横浜ラポールの事例研究—
4163	菅沼 高峰	日本大学大学院	広域型屋内スポーツ施設に関する研究 —一般利用時を考慮した可変性について—
4172	砂原 美紀	三井ホーム(株)	地域公共体育館施設の現状と高齢者の利用に関する研究
4199	武田美由紀	日本大学大学院	集合住宅の共有領域について —日本の集合住宅の変遷とその事例を通して—
4232	長沢 淳子	JR東日本建築設計事務所	美術館における休憩スペースについて —1980年以降の事例を通して—
4239	西脇 敏雄	(株)河野進建築設計事務所	地域福祉施設と交流施設の複合化に関する研究 —横浜市の最新3事例のケーススタディー—
6811	黒澤 聡	(株)マナベ建築設計事務所	
4264	福住 茂久	日本大学大学院	OTTO WAGNERの研究 —作品展開からみる今日的意義—
4265	福田 剛之	日本大学大学院	小中学校の地域施設への転用に関する研究 —杉並区の場合—
4272	古越 祐二	日本大学大学院	「生涯学習の場」としての公民館のあり方について —船橋市の高齢者利用対応を中心として—
4312	木匠 聡	坂田建設(株)	「まちの駅」について —東急世田谷線の宮の坂駅コンペを通して—
4337	横山 大樹	未定	サッカースタジアムの多目的利用に関する研究 —近代スタジアムの比較を通して—
4347	渡邊 幸吉	(株)奥野建築設計事務所	新しい美術館に関する研究 —インターラクティブ・アートを通して—
6810	木村 智	留学予定	風土と建築・伝統的マレーシアの住宅

安達俊夫助教授・山田雅一助手

4005	秋枝 雅康	(株)イチケン	深層混合処理工法による 液状化抑制効果に関する解析的研究
4271	古川 広毅	佐藤工業(株)	
4082	片岡 信治	スターツ(株)	地震動の分布特性に関する研究
4102	熊谷 洋	(株)福田組	
4120	込山 正臣	北野建設(株)	
4216	手島 直己	多摩中央ミサワホーム(株)	
4128	齋藤 友昭	エス・バイ・エル(株)	長期荷重を受けるRC基礎梁の変形状と耐力に関する実験的研究
4321	山内 光禎	多摩中央ミサワホーム(株)	
4132	坂井 幸樹	日本鋼管(株)	表層地盤の液状化発生時の地震動強さに関する仮定的実験 —相対密度の影響—
4299	三島 啓	東洋建設(株)	

4148	三瓶 信英	藤和不動産㈱	セメント改良土の品質管理法に関する調査研究
4149	塩野 充彦	大和ハウス工業㈱	セメント改良土の強度・変形特性に関する研究 —改良砂のねじりせん断特性—
4234	長濱 崇	東京セキスイハイム建設㈱	
4218	戸田 勝	㈱中央住宅	セメント改良土の強度・変形特性に関する研究 —改良砂の繰返しせん断特性—
4262	深川 賢一	日本海建興㈱	
4329	山田 大剛	真柄建設㈱	場所打ちコンクリート杭の品質管理法に関する調査研究
3234	福崎 尚郎	大和ハウス工業㈱	既成杭の品質管理法に関する調査研究

岡村武士助教授

4016	石井 亮次	㈱リクルートコスモス	建築構造工学に関する研究—アントニオ・ガウディの世界
4122	小山 恵子	㈱スケナリ	
4018	石沢 元	三井デザインテック㈱	建築構造工学に関する研究—アントニオ・ガウディの放物線
2267	森島 宏樹	㈱六吹工務店	
2285	吉沢 慶治	留学	
4081	数野 誠一		建築構造工学に関する研究—ピラミッドの構造形態
2296	渡部 智之	㈱メイテック	
0255	藤村 祐一	スズキハウス㈱	
4274	卞 駿	(有)北東エンジニアリング	建築構造工学に関する研究—コンクリートの科学

清水五郎助教授

4099	木龍 克則	スターツホーム㈱	建築物の汚れの原因と対策に関する研究
4121	小森 雅史	㈱松下産業	省力化を考慮したRC系プレファブ住宅の設計施工
4162	末原 宏美	通商産業省	
3030	稲毛 秀憲	㈱浅沼組	アンコール遺跡砂岩の物性に関する研究
3044	内沼 慶人		人工木材の基本的物性に関する研究

三橋博巳助教授

4009	在原 大輔	大京管理㈱	建築物の滅失・寿命推計に関する研究 —大阪市中央区を対象として—
4014	池田 和隆	㈱リクルートコスモス	
4015	石井まり子	(有)陽建設計	
4124	今野 竜也	日東建設㈱	
4194	高橋 竜太	生駒商事㈱	
4247	初見 泰則	㈱中央住宅	
4281	本間 利枝	㈱今西組	
4323	山川 潤平	(有)ナカヤ	都市の防災計画に関する研究 —東京都江東区の広域避難場所について—
4062	岡田 真器	松井建設㈱	
4098	木村 育代	東京セキスイハイム建設㈱	
4282	朴 貴善	留学	建築物の屋根上積雪荷重に関する研究
6824	中本 綾	谷口工業㈱	
4276	細田 英史	留学	
4304	三矢 武史	㈱竹中工務店	
4306	皆川 拓也	㈱フジタ	
4311	村田 浩幸	ダイア建設㈱	

本杉省三助教授・佐藤慎也助手

3292	湯浅 敏昭	㈱ビー・エス	都市のオープンスペース —都市・広場の回復—
------	-------	--------	---------------------------

4025	泉 絵里子	留学	建築物を作らずに良い生活環境を創る —高密度都市居住地、中目黒の生活環境—
4033	井上 友亮	日本大学大学院	公立小学校の統廃合に伴う校地利用に関する研究 —東京都区部の現状から—
4038	岩崎 頼太	㈱池下設計	祭礼・山車を通して街を考える
4056	大橋 史人	日本大学大学院	地域公民館の利用状況と地域住民の活動に関する研究
4064	小笠原康博	日本大学大学院	晴海高層アパートの遺したもの
4100	工藤 裕之	㈱久慈建築設計事務所	水辺の公園における行為と場の関係 —東京湾湾部に面するアメニティーとして—
4108	小清水祐司	未定	場所に関する研究 —好きな場所、嫌いな場所—
4153	渋谷 和正	山忠建設㈱	東京23区におけるごみ処理について —リサイクルセンターを通して—
4185	高波鉄太郎	日本大学大学院	野外上演施設に関する調査・研究 施設の実態と利用の現状について
4233	永田 弘	留学	博物館の吸引力に関する調査・研究
4261	平湯 友信	日本大学大学院	開架室の形態と配架方法 配架から受ける影響について
4345	若狭 友宏	㈱スペース	千葉市の地区公民館における平面計画による類型について
6823	都甲能里子	未定	野外イベントの場所活用に関する調査

石田道孝講師

4068	小山内理恵	ダイア建設㈱	民間分譲マンションにおける高齢者対策についての研究
4069	小澤 浩二	功力建築設計事務所	各種高齢化対応住宅（戸建住宅）設計指針・マニュアルの基本的考え方に関する研究
4110	小西 早苗	東急ホーム㈱	多世帯同居—家族と高齢者の住まい
4117	小林 陽一	㈱ASK Planning Center	高齢者・障害者の視点から見る公開空地の利用に関する調査研究
4164	菅原 完文	日本大学大学院	地域リハビリテーション・サービス関連施設の整備計画に関する研究
4202	多田 将行	ダイア建設㈱	
4167	鈴木 絵美	多摩中央ミサワ㈱	老人保健施設の在宅支援機能についての施設計画に関する研究
6808	河村 洋美	㈱大一	
4174	瀬川 武志	三井ホーム㈱	在宅介護支援センターの建築計画に関する研究
4176	佐藤 孝雄	明和地所㈱	中高年の加齢配慮意識に関する研究
3002	赤野 友信	就職希望せず	ユニバーサルデザインの確立とその可能性
3237	藤川 晋哉	三井ホーム㈱	高齢者集合住宅の共有空間のあり方に関する研究

宇杉和夫講師

4035	今澤健一郎		音楽空間と演劇空間の形成 —ヨーロッパにおけるホール形式への展開—
4119	小松 亮	㈱高橋上田設計事務所	他方向アクセス型集合住宅に関する研究 —住戸室内空間との関係—
4279	堀岡 豊史	㈱池永設計事務所	他方向アクセス型集合住宅に関する研究 —住戸周辺の共領域と私領域との関係—
4179	高石 知治	研究生	地域環境学習の場としての公園に関する研究 —東京の公園の教育的機能・生活的機能等による分類—
4225	中村 和基	留学希望	中世ドイツ都市形成の軌跡と類型 —中世ドイツへの変容と都市形態—
4252	原 陽介	日本大学大学院	中世ドイツ都市形成の軌跡と類型 —中世の同心円型都市の形成と水路—
4331	山田七七三	㈱エイムクリエイツ	都心部商業施設のある大通り景観の色彩調査 —カラーイメージスケールによる分析—
6809	北村 奈央		
6806	小佐野久美	㈱ナショナル住宅産業	環境共生住宅の現在 —「環境共生住宅宣言」の区分による類型—

6807	神沼 広治	日本大学大学院（工学研究科）	近代の日本住宅の空間構成とその形式に関する研究 —玄関のない近代住宅の形成—
6813	斎藤 英樹	㈱湘南ミサワホーム	近代の日本住宅の空間構成とその形式に関する研究 —近代の住宅における「民家型住宅」と「接客型住宅」—
6817	高杉 美緒	㈱丹青社	飲食店のインテリア空間 —雑誌にみる現代OLが好感をもつ雰囲気—
6819	武田 美穂		家族型の変化などに対応する居住空間に関する研究 —統計資料による分析—

柳田 武講師

4037	伊牟田 智	ミサワホーム(株)	建築情報のデータベース化とその検索システムの試作
4107	小久保 忍	飛島建設(株)	
4219	内藤 好文	旭化成ホームズ(株)	
4115	小林 雅呂	ミサワホーム(株)	図面情報とスプレッドシートの連動による建築計画への応用
6820	竹谷 裕二	NKホーム	
4127	斎藤 潤	日大・研究生	ネットワークにおけるファイル管理と利用マニュアルの作成
4200	武部 祥子	TAC企画	「アフォーダンス」の視点から見た環境デザインに関する考察
4277	堀 珠子	大日本土木(株)	3次元CAD/CGによる建築の表現手法に関する研究
4294	松本 卓	日本大学大学院	我が国の「リゾート」の現状とこれからのあり方に関する考察
4319	矢島 弘昭	(フリー)	サイバースペースによる「建築」の空間概念の拡張
4327	山崎 純一	清水建設(株)	「環境問題」に配慮した建設活動のあり方についての考察
4333	山根 貴志	日本大学大学院	3次元モデリングからの図面化とCGプレゼンテーションへの展開

下村幸男（短大）教授

6803	岩淵 芳彦	大和ハウス工業(株)	今後予想される地震災害に対する地域危険度の調査・研究 —駿河台および船橋校舎を対象として—
------	-------	------------	---

短期大学部

学生番号	氏名	就職先・進路先	卒業設計テーマ	学生番号	氏名	就職先・進路先	卒業設計テーマ
6001	阿部 美里	理工（建築）	The Station Building	6015	植村 家浩		出島 in 逗子マリーナ
6002	荒谷 陽子	理工（海建）	コンサートホール	6016	植元 政憲	工（建築）	教会
6003	有賀 香	理工（海建）	道の駅 果実郷	6017	永楽美千子	理工（建築）	生きる人・活きる街
6004	飯島 寿恵		二世帯住宅	6018	海老澤智穂	北島浩建築デザイン事務所	東丘の家
6005	井川 美津	理工（海建）	教会	6019	大竹 良乃		Health care center
6006	石井 潤哉	㈱ソフトウェアセンター	都市の隠れ家	6020	大根田直之	理工（建築）	窯洞の建築
6007	石川 愛	ハンタツファイン研究所	A DAY NURSERY	6021	大森あつ子	理工（建築）	海の展望台
6008	石黒さやか	理工（建築）	UNDERGROUND PARK	6022	大山 由香	理工（建築）	SNAIL AQUARIUM
6009	伊藤 弘樹		小学校	6023	沖山 勲		障害者も普通の人間
6010	伊藤 芽理		The Grave—the park overlooking it—	6024	小野木卓也	理工（海建）	集合住宅
6011	伊東 洋平	理工（建築）	週末だけの二世帯住宅	6025	笠原 悦子	須賀建築設計事務所	美術館
6012	伊藤隆太郎	理工（建築）	change the world —shopping promenade (膜のつくる世界)—	6026	梶原 広行	三和ホーム	3階建てツーバイフォー住宅（集合住宅）
6013	井上 浩治	関工務店	東北地方における住宅のあり方	6027	加藤 健	理工（建築）	駅と駅ビル —妙田の顔になるような駅—
6014	岩田 崇	ヒューマンアカデミー	オランダ・スポーツ公園	6028	加藤 剛司	㈱金沢工務店	浜名湖競馬場計画案
				6029	鎌倉 正史	理工（海建）	REBORN —未来のために—

6030 神浦 泰子 理工（建築） 子供の育つ場所
—地域に広がる小学校—

6031 川井 哲郎 理工（建築） 総合福祉センター

6032 川勝 慎平 理工（建築） エコハウス

6033 川上 智之 理工（建築） 自治医大駅

6034 北沢 大佑 フォーラム長野駅

6035 木村 明博 鎌倉にある養護学校

6036 木村 友行 理工（海建） 三市中央防災センター

6037 黒田 剛 Give off Light

6038 黒田日奈子 ㈱クボタ URBAN LIFE STYLE
—青山街区の一提案

6039 小泉 孝之 理工（海建） Scrap and Build

6040 小出 哲士 理工（海建） 湖畔に建つホテル

6041 小嶋 聖子 理工（建築） Second Home

6042 小山 鉄平 ふれあい

6043 近藤 誠 小川テント㈱ City Ravine（都会の渓谷）

6044 斎藤 綾子 映画館

6045 斎藤 能弘 RIVERSIDE STORY

6046 酒匂 美枝 理工（海建） PASSAGE —過去と未来へ

6047 佐々木隆一 SpoRefresh

6048 佐藤 裕子 理工（建築） RAILWAY SPACE

6049 佐橋利枝子 理工（建築） 葬季

6050 澤井 一幸 習志野憩いの森

6051 篠原奈美枝 理工（建築） PUBLIC SPACE OF CITY

6052 鈴木 千里 理工（海建） TOUCH EARTH

6054 須藤真理子 理工（海建） 緑の世界

6055 炭窯 康次 理工（建築） PRIVACY AND TERRITORIAL

6056 高岡 ゆみ 理工（建築） 文化の広場—京都の発展のために

6057 高橋 敏 パーキングエリア
—複合商業施設

6058 高橋 聡 上野原駅前再開発計画

6059 高橋 智成 光の無限性—住み良い家とは

6060 瀧口 勝 理工（建築） 地域と交流する集合住宅

6061 武田 博通 井上工業㈱ 憩いの施設

6062 建部 聖子 理工（建築） CORAL BLUE
—Okinawa Marine Resort

6063 田辺 雅則 理工（建築） Information Stage of Kawasaki

6064 樽見 崇 理工（海建） 八丈小島リゾート開発

6065 丹野かほり 大友建設㈱ 二世帯住宅

6067 遠山 剛史 地域コミュニティーセンター

6068 富田 昌宏 理工（海建） 釣り人のための水上博物館

6069 中野 千晴 幼稚園

6070 中橋 海太 理工（建築） ルアーデザイナーの家

6071 中村真紀子 浦和市営スタジアム

6073 永井 稔 地域の子供達との交流の
場を含んだ老人ホーム

6075 西川みゆき 理工（建築） 新宿オアシス計画
—都市と緑を結ぶ

6076 西村 直子 理工（海建） 駅ビル

6077 新田 夏枝 理工（海建） Show House

6078 野村 牧子 理工（海建） DAIKANYAMA WAY

6079 橋本 珠美 理工（建築） 清掃工場を持つ牛久市運動公園

6080 長谷川鮎美 SSM㈱ 老人ホーム

6082 原田 賢 地区センター

6083 坂東 友和 サンユー建設㈱ 廃線路の再開発

6084 平林隆一郎 老後の住宅

6085 平林 美帆 理工（建築） 高齢者専用集合住宅

6086 福田 尚史 理工（海建） 軌跡—二十世紀博物館

6087 星野 一郎 スペースデザインカレッジ Botanical Gardens（植物園）

6088 堀口 恵利 理工（海建） くつろぎ施設（保育所）

6089 牧添 健 V・E・S
（Various Exchange Spot）

6090 増田 健作 理工（建築） PARADISE
—ゴミ焼却場との複合施設

6091 増田 寛 理工（海建） 「水と緑」のアリーナ

6092 間瀬 喬生 理工（建築） 商店街の再開発

6093 町山 友康 これからの家

6095 三上由紀子 理工（建築） 高齢者住宅

6096 水柿 貴司 生産工（建築） 老遊空間—老後の暮らし

6097 湊 延幸 理工（海建） 道の駅

6098 宮原 知宏 理工（海建） 健康増進センター

6099 村上 礼隆 理工（建築） 庭園の中の憩いの小ホール

6100 森島 正浩 静岡県立浜松
技能開発専門学校 ARCHITECTURE OF SOUND
—STATION PROJECT—

6101 森田 沙代 理工（建築） Underground Square

6102 門別 諭 理工（建築） HIGH TECH ECO PROJECT

6103 矢田 亮 理工（海建） 自由の教会

6106 吉田 大助 理工（海建） サッカー専用スタジアム
—ワールドカップ2002年に向けて

5080 広瀬 誠

■ 小野新先生，長い間ありがとうございました。

小野先生が平成9年度をもって非常勤講師を定年退職されました。とりあえず都合のつく先生方だけで，先生に感謝する会を開いたのが下の写真です。なんで私に連絡がないの？ とお怒りの向きは，岡田章助手の尻をたたいてもう一度という可能性もあります。



■ 3月25日にめでたく修了・卒業式を迎え、建築学の学位を得て巣立った諸君は以下のような数となった。

大学院博士後期修了 2名
大学院博士前期修了 56名
建築学科卒業 341名
短期大学部建設学科建築コース 99名

■ 2月19日の学位論文審査会の結果、教室関係で以下の先生方が合格と判定され、博士(工学)の学位を授与される運びとなった。おめでとうございます。

新谷隆弘助手(主査:石丸辰治教授)

橋本 修助手(主査:木村 翔教授)

■平成10年度から非常勤講師としてお世話になる新任の先生方16名を、学部、大学院別に、氏名、担当科目の順で紹介する。(敬称略)

《学部》

上利益弘 デザイン基礎

佐藤光彦 デザイン基礎 , 設計製図

横山 聡 デザイン基礎 , 設計製図

前田光一 デザイン基礎 , 設計製図

杉 千春 デザイン基礎 , 設計製図

奥田孝次 設計製図

高橋晶子 設計製図 , 設計演習

西沢立衛 設計製図 , 設計演習

椎名英三 設計製図 , 設計演習

設楽浩吉 不動産私法, 民法 ,

鈴木 透 人口動態論

《大学院》

安達守弘 建築構造特論

秋山 宏 建築構造特論

関口欣也 建築歴史意匠特論

小泉雅生 建築デザイン ,

水谷碩之 建築デザイン ,

なお、これに伴って平成9年度をもって退任された先生方12名は以下の通りである。(敬称略)

教室ぶろむなード

小野 新 建築構造力学 , 同 演習

飯塚 章 建築設計製図 ,

今村雅樹 建築設計製図 , 設計演習

高 俊民 建築設計製図 , 設計演習

染谷正弘 建築設計製図 ,

西野善介 建築設計製図 , 設計演習

橋本 功 建築設計製図 ,

若松久男 設計演習

清水浩昭 人口動態論

片桐善衛 不動産私法, 民法 ,

山本理顕 大学院:建築設計特論

慎 貞吉 大学院:建築計画特論

■平成10年4月1日発令の日本大学人事において、昇格した教室関係の先生方は次の通りである。

教授 清水五郎

専任講師 新谷隆弘

専任講師 宇崎崎勝也

(大学院不動産科学専攻)

なお、これまで大学院の非常勤講師として建築構造特論を担当していただいた**青山博之**東大名誉教授が本年4月より研究所教授に就任した。担当科目はこれまで通り。

■もう一人、大事な新人を紹介します。**矢萩有美子**副手が、平成10年4月から教室事務室に着任します。コワイ人ではありませんので、みなさん、栗原チーフ同様どうぞよろしくお願いします。

■短大建築コースの人事異動について・昇格(平成10年4月より)

助教授 中山 優

・玉木真助助手は、平成9年5月よ

り研究所事務課へ移籍した。

・非常勤講師の先生方については、次のように交代となった。

()内は担当科目、敬称略。

新任

江口征男(建築設計)

薩田英男(建築設計)

世古睦恵(建築設計)

平賀友晃(建築施工法 ,)

退任

井出好昭(建築設計製図 ,)

毛見虎雄(建築施工法 ,)

■大学院生**ロレーナ・アレッシオ**

さんの原著論文「An Approach to Understanding Urban Landscape 都市景観への考察」が日本建築学会計画系論文集No.501(1997.11)に掲載された。

■**関沢勝一**教授の原著論文「国立久里浜養護学校の教室ユニットの使われ方に関する研究」が、日本建築学会計画系論文集No.503(1998.1)に掲載された。

■**木村翔**教授、大学院生の**渡辺充敏**君および山口順氏、平野滋氏連名の原著論文「OSSを用いた音場合成のための残響音付加手法の検討」が、日本建築学会計画系論文集No.503(1998.1)に掲載された。

■**橋本修**助手、**木村翔**教授、大学院OBの**萩野矢和**君連名の原著論文「残響音場における残響とエコーが音声聴取に与える影響」が、日本建築学会計画系論文集No.504(1998.2)に掲載された。

■**井上勝夫**助教授、**木村翔**教授、大学院生の**矢後佐和子**君および平光厚雄氏、**渡辺秀夫**氏連名の原著論文「歩行感から見た住宅床の感覚評価に関する研究—歩行感から見た住宅床の振動応答特性と床衝撃音遮断性能に関する研究 その3—」が、日本建築学会計画系論文集No.504(1998.2)に掲載された。

●駿建目次

(1998.4 Vol.26 No.1 通巻101号)

建築学科履修要項

2

平成9年度建築学科就職状況

15

短期大学部建設学科建築コース履修要項

8

平成9年度修了生・卒業生各賞受賞者一覧

20

専門科目使用教科書並びに参考書

10

卒業生就職先・研究課題一覧

21

私と作品

14

教室ぶろむなード

36

『駿建』

発行者・斎藤公男：千代田区神田駿河台1-8 日本大学理工学部建築学科教室 Tel.03(3259)0724

http://www.arch.cst.nihon-u.ac.jp

■平成10年度編集委員：半貫敏夫・岡田 章・大川三雄・蜂巣浩生・羽入敏樹

■印刷：奥村印刷㈱